EPSON

CW-C8020

ユーザーズガイド

M00156001

もくじ

ご使用の前に 4

本製品マニュアルの使い方 4
- 最新版のダウンロード 4
- 本文中のマークについて 5

本製品のモデルについて 6
- フォトインク仕様/ マットインク仕様 6

製品とドライバーのバージョン 7
- 製品のバージョン確認方法 7
- プリンタードライバーのバージョン確認方法 7

掲載画面 7

安全にお使いいただくために 8
- 設置上のご注意 8
- 取り扱いのご注意 8
- 電源のご注意 9
- インクパックに関するご注意 10
- メンテナンスボックスに関するご注意 12
- 注意ラベル 13

対応用紙 14
- 用紙の形態・形状・サイズ 14
- 用紙種類 16
- 使用できない用紙 17

各部の名称と働き 18
- 本体前面 18
- 本体左側面 19
- 本体右側面（コネクター） 20
- 本体内部（前面） 21
- 本体内部（用紙経路） 22
- 操作パネル 23
- 操作方法画面 24

基本の操作 25

電源の入/切 25
- 電源を入れる 25
- 電源を切る 25

プリンターの状態を確認する 26
- 本体の画面から確認する 26
- ノズルチェックパターンを印刷して確認する 27
- ステータスシートを印刷して確認する 27
- ネットワークの接続状態や設定情報を確認する 28

インクパックの交換 29
- インク残量の確認 29
- インクパックの交換手順 29

メンテナンスボックスの交換 33
- メンテナンスボックスの空き容量の確認 33
- メンテナンスボックスの交換手順 33

プリンタードライバーの設定 36
- 用紙定義 36
- 用紙名 37
- 幅 37
- 長さ 37
- ページ間距離 37
- 用紙形態 37
- 左右ギャップ（ダイカットラベル/全面ラベル/連続紙） 37
- 左ギャップ（タグ） 38
- 右ギャップ（タグ） 38
- 穴・用紙端間距離（タグ） 38
- 用紙種類 38
- 色補正方法 38
- 特色設定 38
- 印刷後用紙動作設定 38
- ブザー設定 39
- 一時停止設定 39
- 用紙検出（ブラックマーク/ギャップ/穴） 39

用紙のセット・交換 40
- ロール紙のセット 41
- ファンフォールド紙のセット 46
- 用紙を取り除く 50

メンテナンス 53

外装のクリーニング 53

オートカッターのクリーニング 54

用紙ガイドのクリーニング 55

紙押さえローラーのクリーニング 57

ギャップ検出器（発光側）のクリーニング 59

プラテンのクリーニング 61

プリントヘッドのクリーニング 62
- ノズルチェックパターンの印刷 62
- ヘッドクリーニング 63

困ったときは 65

画面にメッセージが表示された 65

印刷品質に問題がある 69
- 縦方向（紙幅方向）に白スジが印刷される 69
- 横方向（紙送り方向）に白スジが印刷される 69
- 白スジや黒スジが印刷される 69

印刷された色がおかしい 69
印刷がぼやける・文字が二重になる・印刷位置がずれる 69
用紙が汚れる・インクが付着する 70
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 70
用紙をセットしても給紙されない 70
コンピューターから印刷できない/急に印刷できなくなった 71
プリンタードライバーのインストール確認 71
電源がオンにならない 71
PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない 71
ロール紙が詰まった 72
ファンフォールド紙が詰まった 77

仕様 82

製品仕様 82
電気的仕様 82
外形寸法 83
環境仕様 85
用紙仕様 85
インクパック 86
メンテナンスボックス 86
巻き取り装置（TU-RC8000） 86

付録 87

消耗品とオプション品 87
インクパック 87
メンテナンスボックス 88
巻き取り装置 89
使用制限 94
お問い合わせ前の確認事項 95
ご注意 96
商標 96

ご使用の前に

本章では、本製品をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

本製品マニュアルの使い方

紙のマニュアル	**はじめにお読みください** 本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用の前には必ずお読みください。
パソコンで見るマニュアル	**ユーザーズガイド（本書）** 本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。 以下の URL からご覧ください。 https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm
パソコンで見るマニュアル	**CW-C8020 詳細取扱説明書** 本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。 以下の URL からご覧ください。 https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm
パソコンで見るマニュアル	**Web 動画マニュアル** セットアップの方法を動画で分かりやすく説明しています。以下の URL からご覧ください。 https://support.epson.net/p_doc/95d/ 動画の内容は変わることがあります。

最新版のダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。
https://www.epson.jp/support/support_menu/ks/19.htm

本文中のマークについて

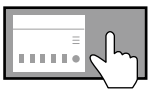
本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

安全に関するマーク

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関するマーク

!重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。
	操作方法を操作パネルから確認できます。ホーム画面から［?（ヘルプ）］-［操作方法が知りたい］を選択してください。
▶	操作方法を Web 動画マニュアルから確認できます。QR コードを読み取ってください。

本製品のモデルについて

フォトインク仕様/ マットインク仕様

本製品は、フォトインク（BK）またはマットインク（MK）いずれかのブラックインクが使えます。初期充填時に、どちらのブラックインクを使用するのかを設定します。
それぞれの仕様で使える用紙については、「用紙仕様」85 ページを参照してください。

重要	初期充填時に設定したブラックインクの仕様は、一度設定したら変更できません。

製品とドライバーのバージョン

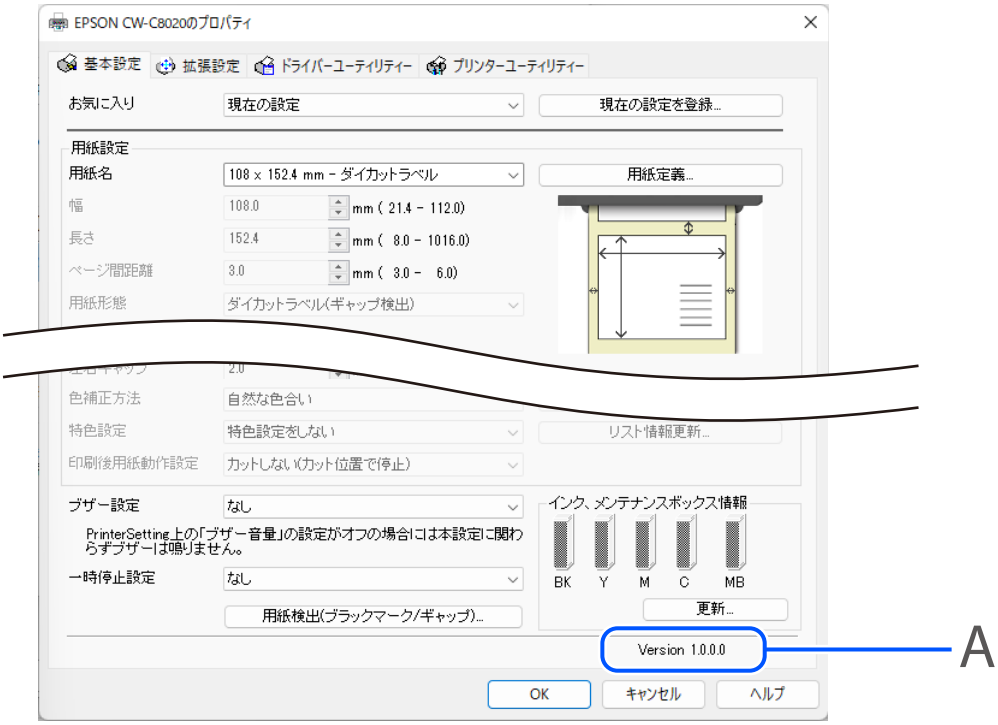
製品のファームウェアとプリンタードライバー、ユーティリティーはすべて最新のバージョンの組み合わせでご使用ください。☞「最新版のダウンロード」4 ページ

製品のバージョン確認方法

ステータスシート印刷で、お使いの製品ファームウェアのバージョンを確認できます。ステータスシート印刷結果を確認してください。☞「ステータスシートを印刷して確認する」27 ページ
操作パネルからも確認できます。
［Menu］-［情報確認/印刷］-［ファームウェアバージョン］

プリンタードライバーのバージョン確認方法

プリンタードライバーの画面でバージョンを確認できます。



A: プリンタードライバーバージョン

掲載画面

お使いの製品および OS によって、本文中の表記と実際に表示される Windows の画面が異なる場合があります。本書では、特に指定がない限り Windows 11 の画面を掲載しています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および本製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように大切に保管してください。

設置上のご注意

⚠警告

本製品の通風口を塞がないでください。☞「本体右側面（コネクター）」20 ページ
通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。

⚠注意

- 不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、１人で運ばないでください。開梱や移動の際は２人以上で運んでください。本製品の質量は「製品仕様」82 ページを参照してください。
- 本製品を持ち上げる際は、本書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

取り扱いのご注意

⚠警告

- アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 煙が出たり、変なにおいや音がしたりなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。
- 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。
- マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
- お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
- 可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災のおそれがあります。
- 各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- 開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。

- 本体の画面が破損したときは、中の液晶に十分注意してください。万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
    - 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗い流してください。
    - 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
    - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。

⚠注意

- 本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。
- 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。
- 本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源がオンの状態で本製品に振動や衝撃を与えないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品の内部を引き出した状態で持ち運ばないでください。落下によりけがをするおそれがあります。
- 平らな場所で本製品の内部を引き出してください。落下によりけがをするおそれがあります。

電源のご注意

⚠警告

- AC100V 以外の電源は使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。感電・火災のおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口に相談してください。また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
    - 電源コードを加工しない
    - 電源コードに重いものを載せない
    - 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
    - 熱器具の近くに配線しない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- テーブルタップへの接続、電源コードのたこ足配線はしないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
- 本製品の電源を入れたままコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

インクパックに関するご注意

⚠注意

- インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
  - 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。
  - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- インクパックを分解しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- インクパックは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクパックからインクが漏れるおそれがあります。
- インクパックは、子どもの手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。
- 良好な印刷品質を得るために、装着から 1 年以内に使い切ることをお勧めします。
- インクパック上の IC チップには触らないでください。
- インクパックは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 弊社のプリンターは、プリントヘッドの品質を維持するためインクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内に多少のインクが残ります。ランニングコストは、お客様のご使用環境及びご使用状況により異なります。
- インクパックに再生部品を使用している場合がありますが、品質には影響ありません。
- 製品の機種型番によって、使用できるインクパックが異なります。お使いのプリンターの機種型番に合うインクパックを使用してください。
  ☞「インクパック」86 ページ
- 新しいインクパックは、よく振ってからセットしてください。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ
- 本製品のインクパックは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクパックを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。
- インクパックは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクパック交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- 充填中（ ⏻（電源）LED の点滅中）は、電源を切ったり、用紙カバー、上カバー、インクカバーを開けたりしないでください。カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充填され、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- モノクロ印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
- インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクパックの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。

- インクパックトレイまたはインクカバー内部に異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。異物を取り除く際は、傷をつけないように取り除いてください。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクパックよりも印刷できるページ数が少なくなることがあります。
- インクの乾燥を防ぐためにプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）がされます。動作中に電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。プリントヘッドにキャップ（ふた）がされない可能性があります。
- アート紙等の表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。
- インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、4 時間以上室温に放置してから使用してください。
- 本製品を保管、または輸送するときは、本製品からインクパックを取り外さないでください。

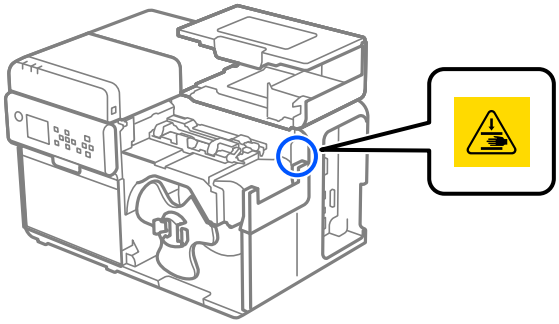
メンテナンスボックスに関するご注意

⚠注意

- 子供の手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。
- メンテナンスボックスを分解または改造しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- メンテナンスボックス上の IC チップは触らないでください。
- 使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期間放置した場合は再使用しないでください。
- メンテナンスボックス上面のフィルムは剥がさないでください。
- インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
    - 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
    - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。
    - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 使用したメンテナンスボックスは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、メンテナンスボックスからインクが漏れるおそれがあります。
- 高温下及び凍結状態での保存は避けてください。
- 直射日光を避けてください。

注意ラベル

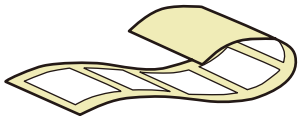
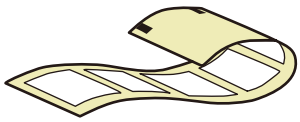
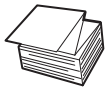
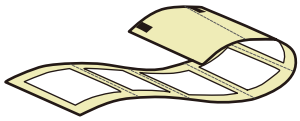
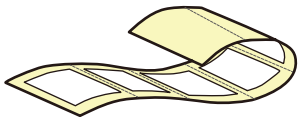
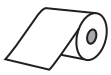
本製品に貼付されているラベルは、以下の注意事項を示しています。

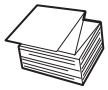
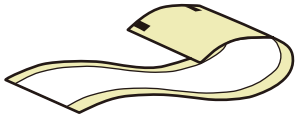
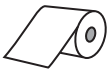
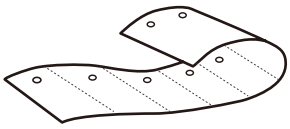
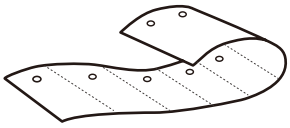
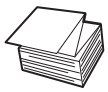
注意（指挟み）	用紙カバーを開閉するときは、手や指を挟まないでください。けがをするおそれがあります。 

対応用紙

本製品で使える、用紙の形態・形状・サイズ、用紙種類および使用できない用紙について説明します。
詳しい仕様については、CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

用紙の形態・形状・サイズ

用紙の形態	用紙の形状	用紙幅（mm）	台紙幅（mm）	ラベル幅（mm）	ページ間距離（mm）
ダイカットラベル紙（ギャップ基準[*1]） 	ロール紙 	---	25.4 ～ 112	21.4 ～ 108	3.0 ～ 6.0
ダイカットラベル紙（ブラックマーク基準[*2]） 	ロール紙 	---	25.4 ～ 112	21.4 ～ 108	3.0 ～ 6.0
ダイカットラベル紙（ブラックマーク基準[*2]） 	ファンフォールド紙 	---	50 ～ 112	46 ～ 108	3.0 ～ 6.0
ダイカットラベル紙（ブラックマーク基準[*2]、ミシン目あり） 	ロール紙 	---	25.4 ～ 112	21.4 ～ 108	3.0 ～ 6.0
ダイカットラベル紙（ブラックマークなし、ミシン目あり） 	ロール紙 	---	25.4 ～ 112	21.4 ～ 108	3.0 ～ 6.0
粘着加工なしの連続紙（ブラックマーク基準[*2]） 	ロール紙 	25.4 ～ 112	---	---	---

用紙の形態	用紙の形状	用紙幅（mm）	台紙幅（mm）	ラベル幅（mm）	ページ間距離（mm）
粘着加工なしの連続紙（ブラックマーク基準*2） 	ファンフォールド紙 	50 ～ 112	---	---	---
粘着加工なしの連続紙（ブラックマークなし） 	ロール紙 	25.4 ～ 112	---	---	---
全面ラベル紙（ブラックマーク基準*2） 	ロール紙 	---	25.4 ～ 112	21.4 ～ 108	---
全面ラベル紙（ブラックマークなし） 	ロール紙 	---	25.4 ～ 112	21.4 ～ 108	---
タグ*3（穴、長穴、切欠き） 	ロール紙 	25.4 ～ 112	---	---	---
タグ*3（穴、長穴、切欠き） 	ファンフォールド紙 	50 ～ 112	---	---	---

*1： ラベル間のすき間を基準に、印刷位置を検知します。
*2： 用紙の裏に印刷された黒いマークを基準に、印刷位置を検知します。
*3： 用紙にある穴、長穴、切欠きを基準に、印刷位置を検知します。

参考	• 長さ 25.4 mm 未満のラベルをオートカットした場合、印刷したラベルが固定刃付近に留まり、取り除きにくくなる場合があります。 • ダイカットラベルを使用する場合、型抜きされたラベルの形状や紙厚、硬さによっては、プリンターの内部でラベルが台紙から剥がれるおそれがあります。用紙仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

用紙種類

対応用紙種類は、使用するブラックインクの種類によって以下の通り異なります。

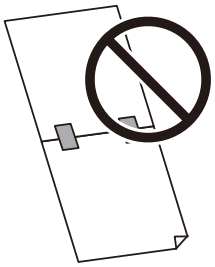
用紙種類	マットインク使用時	フォトインク使用時
普通紙	✓	-
マット紙	✓	✓
上質紙	✓	-
合成紙	✓	✓
光沢紙	-	✓
光沢フィルム	-	✓
高光沢紙	-	✓

使用できない用紙

以下のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

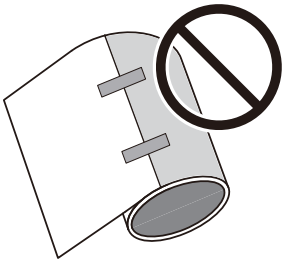
- サーマル紙

- テープなどで繋ぎ、延長した用紙

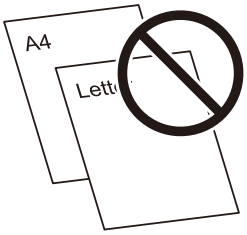


- テープなどで芯に止めている用紙

参考	用紙端と巻芯を両面テープで留めた場合は使用できますが、ロール紙終端で印刷できないラベルが複数枚発生する場合があります。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。



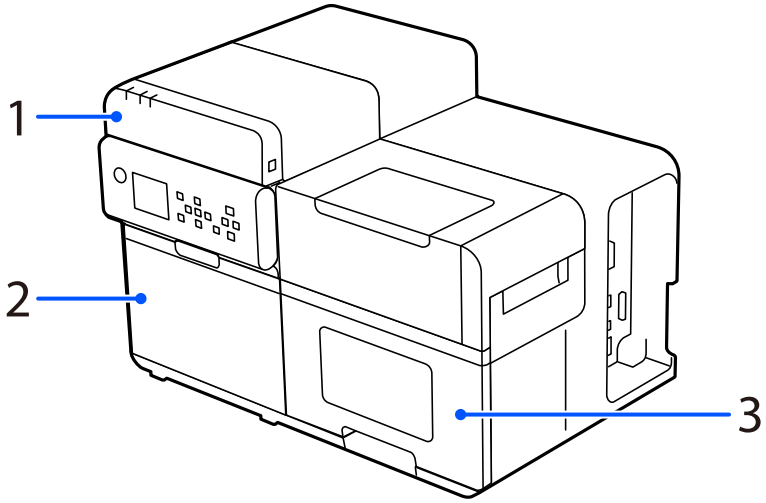
- A 判、B 判などの用紙



各部の名称と働き

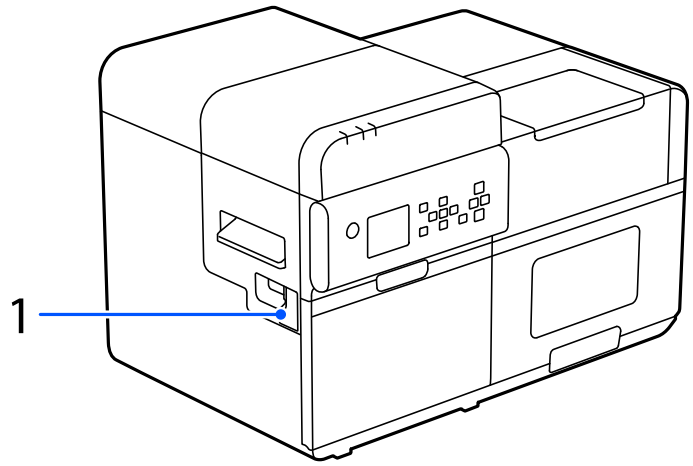
ここでは、主な操作部を説明します。

本体前面



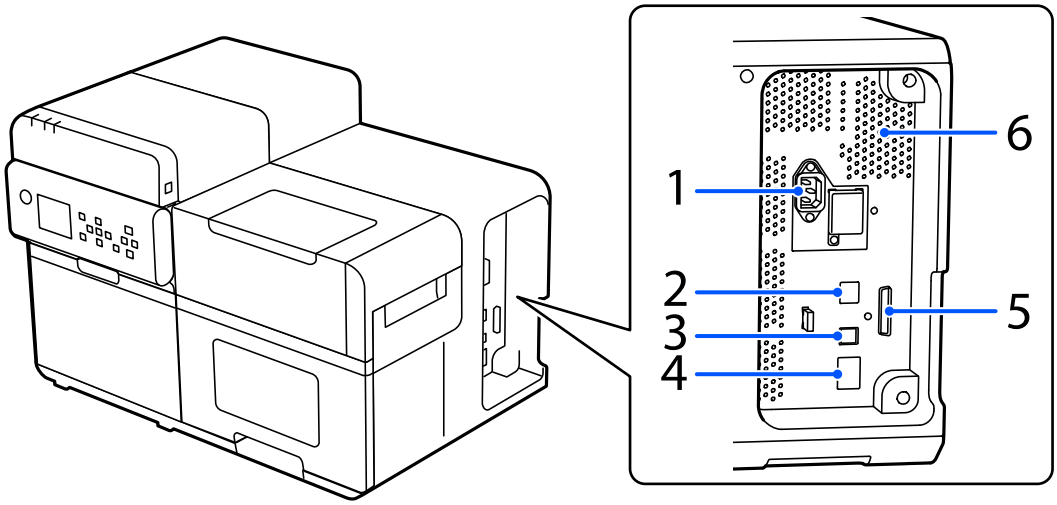
No.	名称	説明
1	上カバー	詰まった用紙を取り除くときや、クリーニングのときに開けます。
2	インクカバー	インクパックとメンテナンスボックスを取り付け/交換するときに開けます。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ ☞「メンテナンスボックスの交換」33 ページ
3	用紙カバー	用紙をセット・交換するときに開けます。

本体左側面



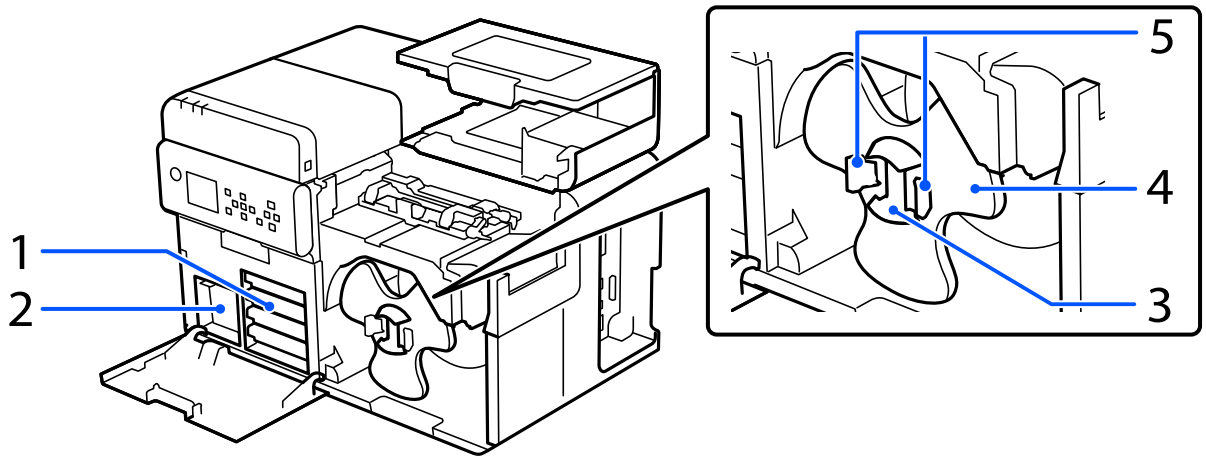
No.	名称	説明
1	巻き取り装置接続カバー	巻き取り装置（オプション）を取り付けるときに開けます。 「巻き取り装置」89 ページ

本体右側面（コネクター）



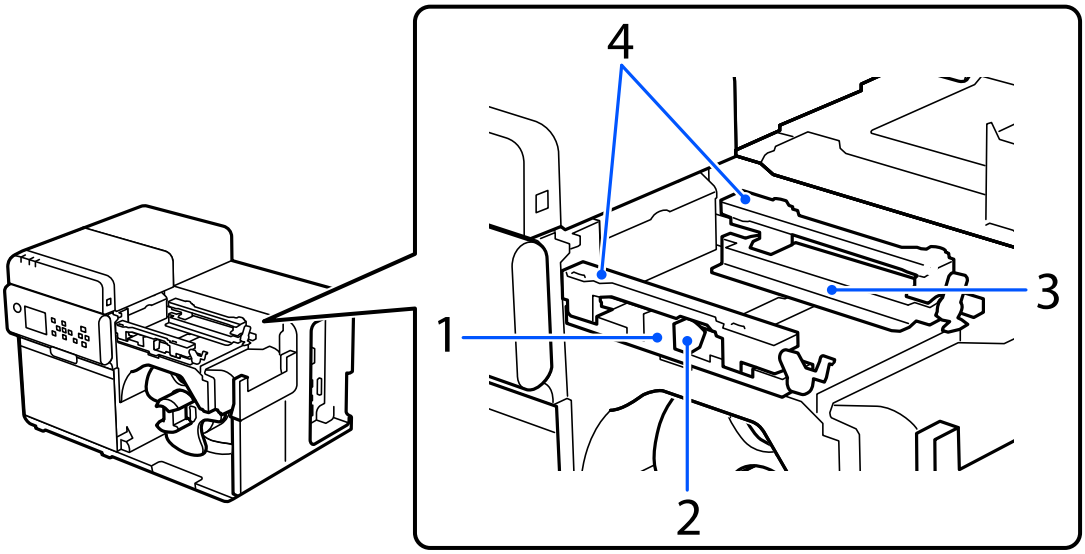
No.	名称	説明
1	電源コネクター	電源ケーブルを接続します。
2	USB A ポート （オプションの無線 LAN ユニット専用）	オプションの無線 LAN ユニットを接続します。
3	USB B ポート	USB（Type-B）ケーブルを接続します。
4	LAN ポート	LAN ケーブルを接続します。
5	EXT.I/F	特定の使用者のみが外部機器制御に使用します。
6	通風口	本製品内の温度の上昇を防ぐため、内部で発生する熱を排出します。設置の際は、通風口から 10 cm 以上のすき間をあけ、風通しを良くしてください。

本体内部（前面）



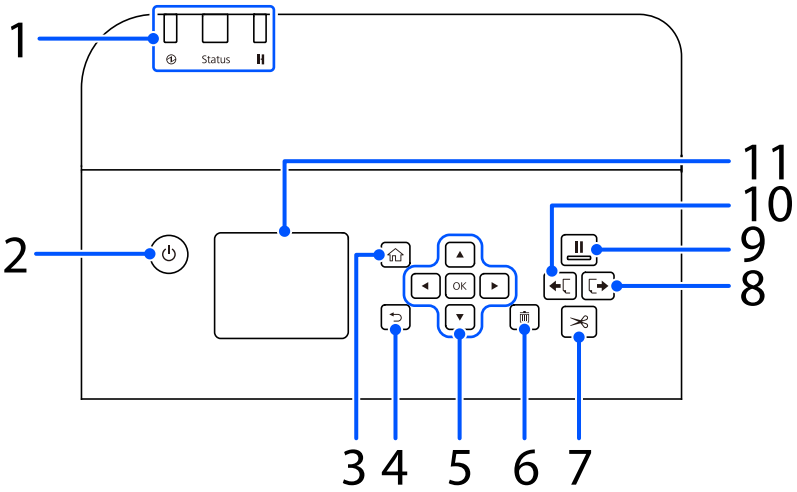
No.	名称	説明
1	インクパックトレイ	4 色のインクパックをトレイにそれぞれセットします。画面に交換のメッセージが表示されたらトレイごと引き出します。 「インクパックの交換手順」29 ページ
2	メンテナンスボックス	メンテナンスボックスは、ヘッドクリーニングで排出される廃インクをためる容器です。画面に交換のメッセージが表示されたらメンテナンスボックスを引き出します。 「メンテナンスボックスの交換」33 ページ
3	軸	ロール紙を差し込んで使用します。
4	ロール紙フランジ	軸にセットしてロール紙を固定します。
5	レバー	レバーを押すことで、ロール紙フランジを軸へ挿入したり、取り外したりできます。

本体内部（用紙経路）



No.	名称	説明
1	用紙ガイド（可動）	用紙をまっすぐに給紙するためのガイドです。レバー（青）を押してスライドさせ、用紙の幅と白色のガイド板を合わせます。
2	レバー（青）	このレバーを押すことで用紙ガイド（可動）をスライドできます。
3	用紙ガイド	用紙をまっすぐに給紙するためのガイドです。白色のガイド板に用紙を沿わせてセットします。
4	用紙押さえ	用紙を上から押さえて、給紙の際に用紙が浮かないようにするために使います。

操作パネル

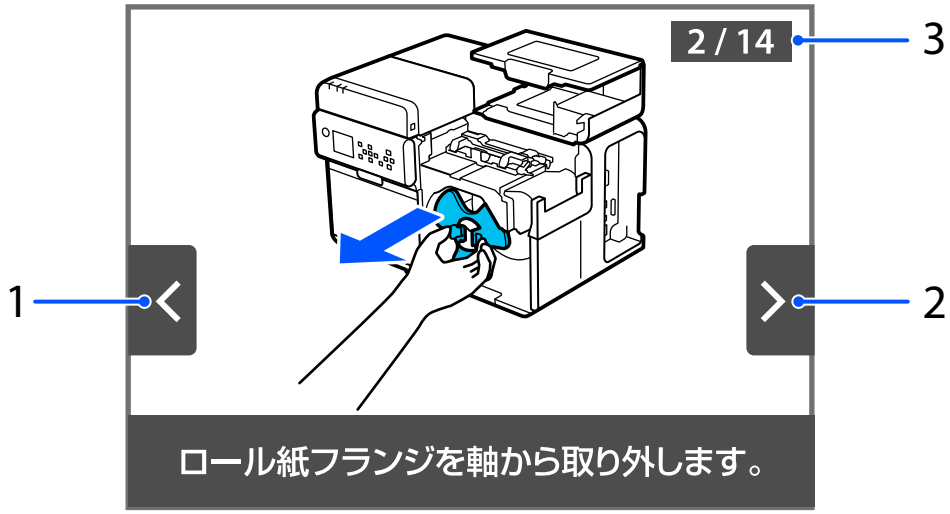


No.	名称	説明
1	LED	LED の点滅によって、プリンターの状態を確認できます。 詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。 • ⏻（電源）LED プリンターの電源がオンのときに、点灯します。印刷中やインクの充填中に、点滅します。 • Status LED プリンターに異常があるときに、点灯・点滅します。 • ⏸（ポーズ）LED プリンターが動作を中断しているときに、点灯・点滅します。
2	⏻（電源）ボタン	電源を入れたり切ったりします。
3	（ホーム）ボタン	ホーム画面を表示します。
4	（戻る）ボタン	前の画面に戻ります。
5	▲◀▼▶（選択）ボタンと OK ボタン	▲◀▼▶ボタンでメニューや項目を選択し、OK ボタンで確定します。
6	（キャンセル）ボタン	印刷をキャンセルします。 プリンターの一時停止中に（キャンセル）ボタンを押し、［キャンセル選択］画面で［先頭フォーマットのみ］、または［すべてのフォーマット］を選択し印刷のキャンセルを行います。
7	（カット）ボタン	用紙をカットします。
8	（バックフィード）ボタン	用紙交換の時のみ押します。（カット）ボタンを押して印刷した用紙を切り取ってから、（バックフィード）ボタンを長押しすると、用紙が後方に送られ、用紙を引き抜くことができます。
9	⏸（ポーズ）ボタン	• 印刷中に押した場合 印刷中のページを印刷後に一時停止し、⏸（ポーズ）LED が点灯します。もう一度押すと印刷を再開し、⏸（ポーズ）LED が消灯します。 • 印刷待機中に押した場合 プリンターが一時停止し、⏸（ポーズ）LED が点灯します。もう一度押すと印刷待機中になり、⏸（ポーズ）LED が消灯します。 • エラーによる一時停止中に押した場合 プリンターの一時停止を解除し、⏸（ポーズ）LED が消灯します。

No.	名称	説明
10	（フィード）ボタン	（フィード）ボタンを押すと、以下の長さの用紙が紙送りされます。用紙の形態によって紙送りの長さが異なります。 • ブラックマーク基準、ギャップ基準 1 ページ分 • その他 25.4mm（1 in.） 上記の長さを紙送りした後も（フィード）ボタンを押し続けると、ボタンを押している間は連続して紙送りされます。
11	画面	本製品の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示します。

操作方法画面

本体画面に操作方法が表示されます。操作パネルの▲◀▼▶（選択）ボタンと OK ボタンを押すと、手順を切り替えられます。手順によっては、複数の図を自動で切り替えて表示することがあります。



No.	名称	説明
1	手順戻しボタン	操作パネルの◀（選択）ボタンを押して、前の手順を表示します。
2	手順送りボタン	操作パネルの▶（選択）ボタンを押して、次の手順を表示します。
3	手順番号	全手順数が表示されます。現在表示している手順は色が青に変化します。

基本の操作

本章では、本製品の基本的な操作方法について説明しています。

電源の入/切

電源を入れる

（電源）LED が点灯するまで、（電源）ボタンを押してください。

電源を切る

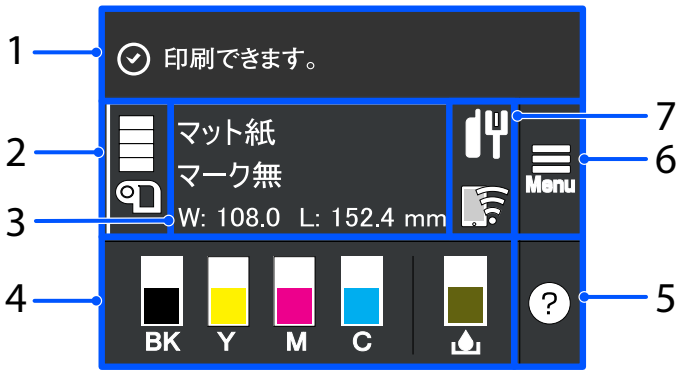
本体画面が電源を切る前の確認画面に切り替わるまで、（電源）ボタンを押してください。確認画面で［はい］を選択すると、（電源）LED が消灯して電源が切れます。

プリンターの状態を確認する

LED の点灯/点滅と本体の画面から、プリンターの状態を確認できます。
また、ステータスシート印刷でプリンターの各種設定を確認したり、ノズルチェックパターンでドット抜けの状態を確認したりできます。
☞「ステータスシートを印刷して確認する」27 ページ
☞「ノズルチェックパターンの印刷」62 ページ

本体の画面から確認する

プリンターの状態を本体の画面から確認できます。
操作パネルの▲◀▼▶（選択）ボタンと OK ボタンで画面を選択してください。



No.	名称	説明
1	情報表示欄	プリンターの状態やエラーメッセージなどを表示します。
2	給紙方法 / 用紙残量欄	給紙方法を確認できます。 ロール紙またはファンフォールド紙によって用紙のアイコンが切り替わります。［給紙方法］を［外部供給］に設定した場合は用紙のアイコンの下に「EX」が表示されます。 用紙残量は［給紙方法］を［内部供給］に設定したときに確認できます。
3	用紙情報欄	用紙設定の情報を確認できます。 このエリアを選択すると、［Menu］ - ［用紙設定］ と同じメニューが表示されます。 参考: プリンタードライバーからも用紙設定ができます。操作パネルとプリンタードライバーで設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定が適用されます。 ☞「プリンタードライバーの設定」36 ページ
4	消耗品情報アイコン	各色インクパックの残量と、メンテナンスボックスの空き容量の目安をバーの長さで示しています。バーが短いほど、残量や空き容量が少ないことを示しています。 • ［!］マーク インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示しています。 • ［x］マーク インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。 • マットインク仕様の場合は、ブラックインクは「MK」と表示されます。
5	ヘルプメニュー	困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順を確認できます。 ☞「操作方法画面」24 ページ
6	設定メニュー	メンテナンスやプリンターの動作設定、ネットワーク設定などを行えます。本書では［Menu］と表現しています。

No.	名称	説明
7	ネットワークアイコン	オプションの無線 LAN ユニット（OT-WL06）を接続することで、無線 LAN で通信できます。ホーム画面にこれらのネットワークアイコンが表示されない場合は、もう一度無線 LAN ユニットが接続されていることを確認し、プリンターを再起動してください。

ノズルチェックパターンを印刷して確認する

ノズルチェック印刷をすることで、ドット抜けなどの印字不良が発生していないかを確認できます。

☞「ノズルチェックパターンの印刷」62 ページ

ステータスシートを印刷して確認する

ステータスシート印刷をすることで、ファームウェアのバージョンや印刷動作モード、用紙検出設定などの各種設定状態を確認できます。操作パネルから以下の種類のステータスシートを印刷できます。

［Menu］ - ［情報確認/印刷］ - ［本体ステータスシートの印刷］

参考	ステータスシートを印刷する場合は、幅 101.6 mm（4.00 インチ）、長さ 152.4 mm（6.00 インチ）を超える用紙を使用することをお勧めします。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

ステータスシート印刷例

<Printer Status Sheet>
Sheet Output Time
YYYY.MM.DD hh:mm

<Basic Information>
Model
XX-XXXXX BK
Serial Number
XXXXXXXXXX
Main Firmware Version
XXXXXXXX
MAC Address
XX:XX:XX:XX:XX:XX
IP Address Setting
Auto/Manual
IP Address
XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask
XXX.XXX.XXX.XXX
Gateway Address
XXX.XXX.XXX.XXX
Head ID
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

03	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm
04	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm
05	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm
06	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm
07	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm
08	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm
09	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm
10	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm

ステータスシート（ネットワーク設定）印刷例

HHH NetWork Status Sheet HHH
<General Info>

MAC Address	xx:xx:xx:xx:xx:xx
Firmware	xxxxxxxxx
<Ethernet>	
Network Status	Auto(Disconnected)
<TCP/IP IPv4>	
Obtain IP Address	Manual
IP Address	xxx.xxx.xxx.xxx
Subnet Mask	xxx.xxx.xxx.xxx
Default Gateway	xxx.xxx.xxx.xxx

HHHHHHHHHHH 1/1 HHHHHHHHHHH

参考	• 本体に登録されているフォント・バーコードや、新規に登録したイメージ・テンプレートのリストの印刷も可能です。 • 無線 LAN ユニットを装着している場合、ステータスシート（ネットワーク設定）では、無線情報を印刷します。

ネットワークの接続状態や設定情報を確認する

ネットワーク接続診断レポートで確認できます。
レポートの印刷方法や確認できる項目などは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

参考	ネットワーク診断レポートを印刷する場合は、幅 101.6 mm（4.00 インチ）、長さ 152.4 mm（6.00 インチ）を超える用紙を使用することをお勧めします。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

インクパックの交換

ここでは、インクパックの交換方法を説明します。

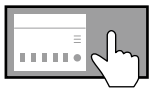
⚠注意	インクパックをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。 「インクパックに関するご注意」10 ページ

インク残量の確認

操作パネルまたはコンピューターからインク残量の目安を確認できます。

参考	インクが少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてインクパックの交換をしてください。

インクパックの交換手順



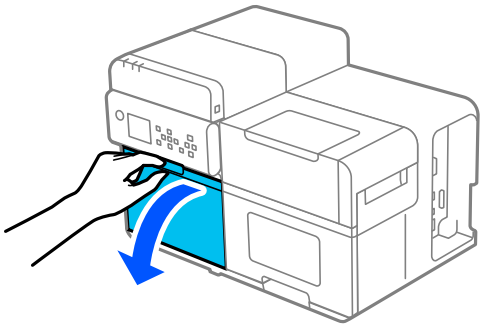
インクパック交換手順を操作パネルで見る

［?（ヘルプ）］-［操作方法が知りたい］-［インクパックを交換する］

例として BK インクの交換手順を説明します。交換手順は、どのインクパックも同じです。

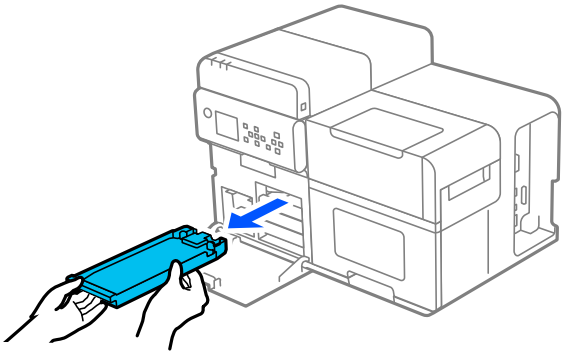
重要	• ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。 • 新しいインクパックは、手順のとおりによく振ってからセットしてください。

1 インクカバーを開けます。

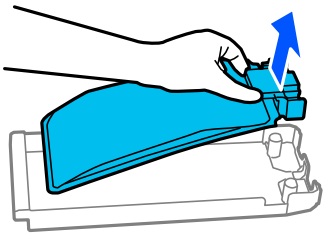


2 インクパックトレイを両手で取り出します。

重要	インクパックを強く握らないでください。インクが漏れる可能性があります。

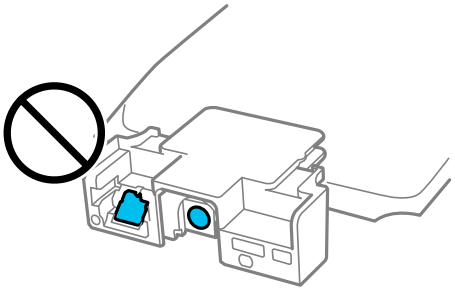


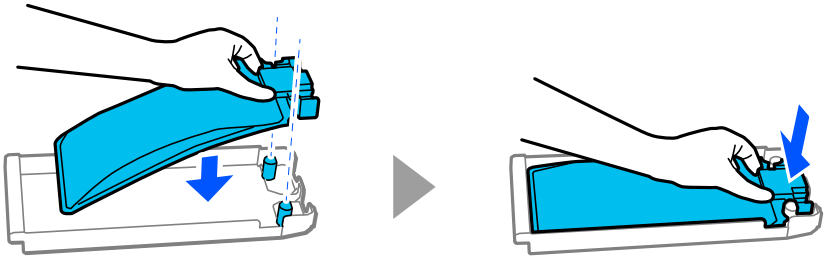
3 取っ手を持ってインクパックを取り外します。



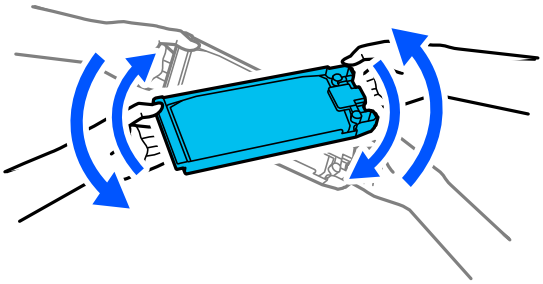
4 新しいインクパックをトレイにセットします。

「インクパックに関するご注意」10 ページ

⚠注意	図で示した部分には触らないでください。 

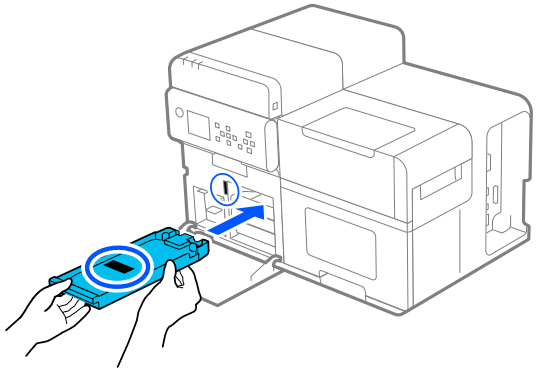


5 インクパックトレイを両手で持って、上下に約 **60** 度の角度で **10** 秒間に **10** 回程度振ります。

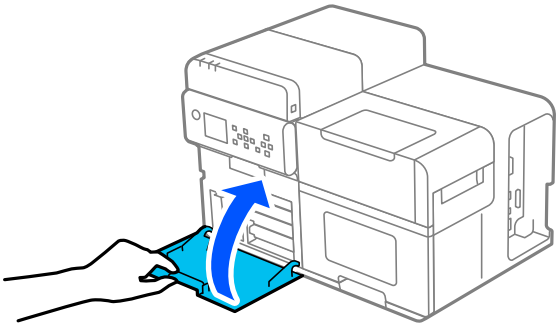


6 インクパックと本体に貼られているラベルの色が合っていることを確認して、インクパックトレイを奥までしっかりと押し込みます。

!重要	インクパックを強く握らないでください。インクが漏れる可能性があります。

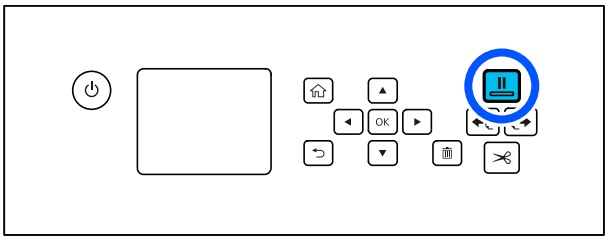


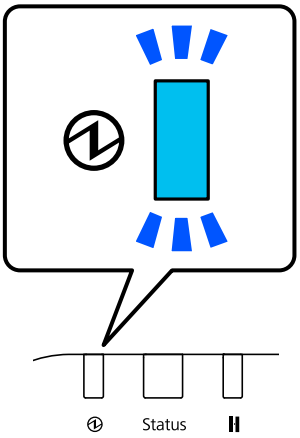
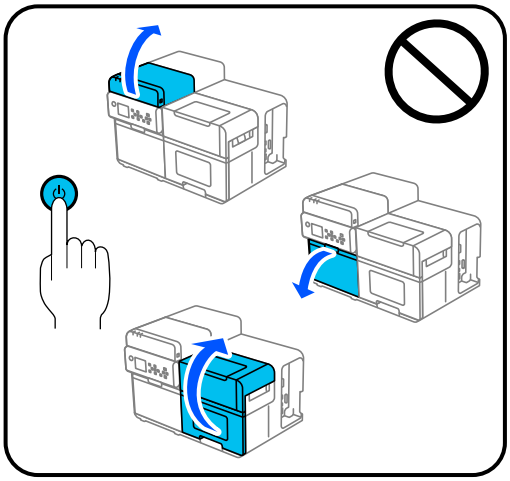
7 インクカバーを閉めます。



8 ❚❚（ポーズ）ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。



⚠注意	インクの充てん中（（電源）LED が点滅している間）は、決して各カバーを開けたり、電源を切ったりしないでください。インク充てん中にこれらの操作が行われた場合、インクが著しく消費され、充てんが完了する前にインクパックの交換が必要になるおそれがあります。   インクの充填が終わると、（電源）LED が点滅から点灯に変わります。

メンテナンスボックスの交換

ここでは、メンテナンスボックスの交換方法を説明します。

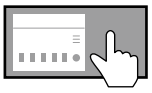
⚠注意	メンテナンスボックスをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。 「メンテナンスボックスに関するご注意」12 ページ

メンテナンスボックスの空き容量の確認

操作パネルまたはコンピューターからメンテナンスボックスの空き容量の目安を確認できます。

参考	メンテナンスボックスの空き容量が少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてメンテナンスボックスの交換をしてください。

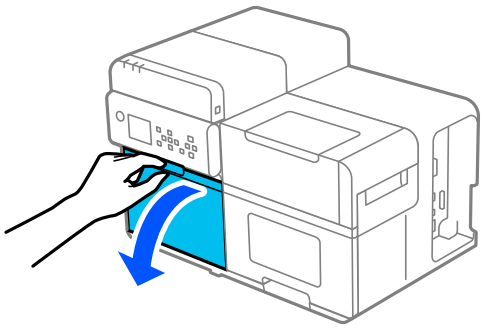
メンテナンスボックスの交換手順



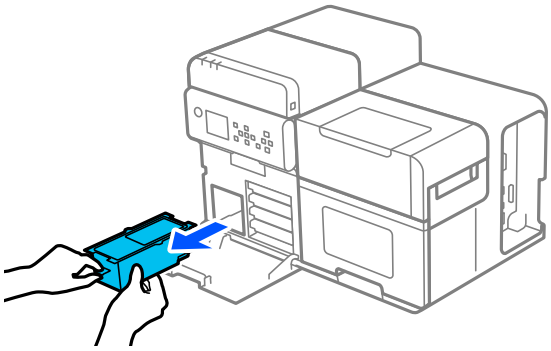
メンテナンスボックス交換手順を操作パネルで見る

［？（ヘルプ）］-［操作方法が知りたい］-［メンテナンスボックスを交換する］

1 インクカバーを開けます。

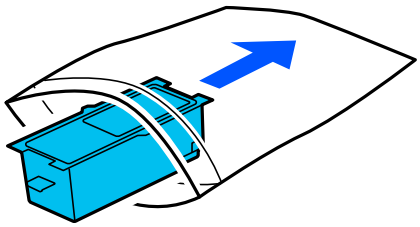


2 メンテナンスボックスを引き抜きます。



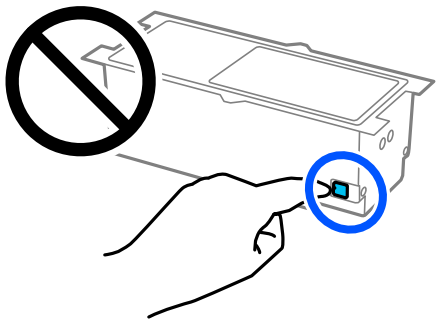
3 使用済みのメンテナンスボックスを透明袋に入れて密封して廃棄します。

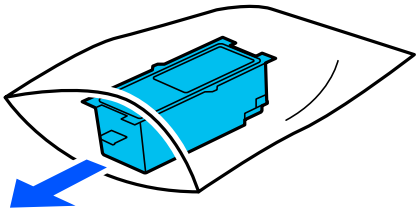
「メンテナンスボックスの廃棄」88 ページ



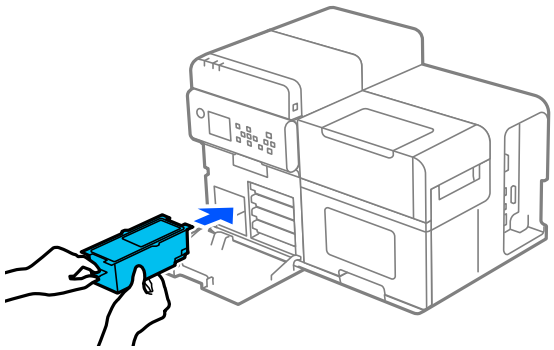
4 新しいメンテナンスボックスを袋から取り出します。

「メンテナンスボックスに関するご注意」12 ページ

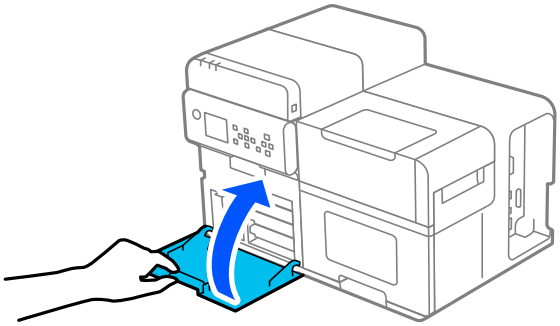
⚠注意	図で示した部分には触らないでください。 



5 新しいメンテナンスボックスのラベル面を上にし、しっかりと押し込みます。

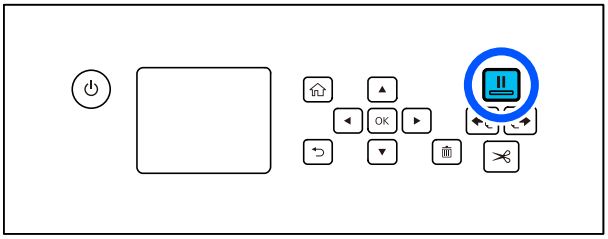


6 インクカバーを閉めます。



7 ⏸（ポーズ）ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。



プリンタードライバーの設定

設定方法を動画で見る
https://support.epson.net/p_doc/95d/
「ドライバーの設定方法（CW-C8020）」

用紙のサイズや形態など、印刷時に必要な基本項目を設定します。
プリンタードライバーには、ヘルプ機能が搭載されています。項目上で右クリックしてヘルプをクリックすると、項目の説明が表示されます。

参考	プリンター本体の設定（操作パネル、CW-C8020 PrinterSetting、または WebConfig で設定）と、プリンタードライバーの設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定が適用されます。

用紙定義

よく使う用紙のサイズや形態、種類などを、用紙定義として登録しておくことができます。設定した用紙定義は用紙名プルダウンから選択できます。あらかじめ登録しておくと、アプリケーションから印刷するときにドライバーの用紙設定が不要となるため便利です。
用紙定義をせずに、そのつど用紙サイズなどを設定したい場合は、基本設定タブの用紙名プルダウンからユーザー入力を選択します。基本設定タブ内の各種設定項目が有効になり、用紙サイズなどの設定ができるようになります。

用紙名

- 縮小用用紙サイズ
- 108 x 152.4 mm - ダイカットラベル*（初期設定）
- ユーザー入力

*： 同梱されているロール紙の印刷に適した設定です。

幅

21.4 - 112.0 mm
初期設定：108.0 mm（ダイカットラベル/全面ラベル/連続紙）、76.2 mm（タグ）

長さ

用紙形態が全面ラベル（検出しない）/連続紙（検出しない）の場合
11.0 - 1016.0 mm から指定可能
初期設定：152.4 mm

用紙形態がタグ（穴検出）の場合
8.0 - 300.0 mm から指定可能
初期設定：50.8 mm

用紙形態がその他の場合
8.0 - 1016.0 mm から指定可能
初期設定：152.4 mm

ページ間距離

3.0 - 6.0 mm
初期設定：3.0 mm

用紙形態

- ダイカットラベル（ギャップ検出）（初期設定）
- ダイカットラベル（ブラックマーク検出）
- 全面ラベル（ブラックマーク検出）
- 全面ラベル（検出しない）
- 連続紙（ブラックマーク検出）
- 連続紙（検出しない）
- タグ（穴検出）

左右ギャップ（ダイカットラベル/全面ラベル/連続紙）

0.0 - 6.0 mm
初期設定：2.0 mm

左ギャップ（タグ）

0.0 - 30.0 mm
初期設定：2.0 mm

右ギャップ（タグ）

0.0 - 30.0 mm
初期設定：2.0 mm

穴・用紙端間距離（タグ）

0.0 - 306.0 mm
初期設定：28.4 mm

用紙種類

- 普通紙
- マット紙（初期設定）
- 合成紙
- 上質紙
- 光沢紙
- 光沢フィルム
- 高光沢紙

参考	フォトインク仕様/ マットインク仕様により、使用可能な用紙種類が異なります。詳細は「用紙仕様」85ページを参照してください。

色補正方法

- 自然な色合い（初期設定）
- EPSON 基準色
- あざやかな色合い
- ICM
- 色補正なし

特色設定

特色設定をしない（初期設定）

印刷後用紙動作設定

- カットする(最終ページ印刷後)

- カットする(指定ページ毎)
- カットする(部単位印刷の最終ページ)
- カットしない(カット位置で停止)（初期設定）
- カットしない(印刷位置で停止)

ブザー設定

- なし（初期設定）
- カット後
- 最終ページのみ

参考	本体の設定がブザー音量オフの場合は、ドライバーの設定にかかわらずブザーは鳴りません。

一時停止設定

- なし（初期設定）
- カット後
- 最終ページのみ
- 部単位印刷の最終ページ

用紙検出（ブラックマーク/ギャップ/穴）

［給紙方法］、［用紙検出］共に初期設定は本体の設定値により変わります。

給紙方法

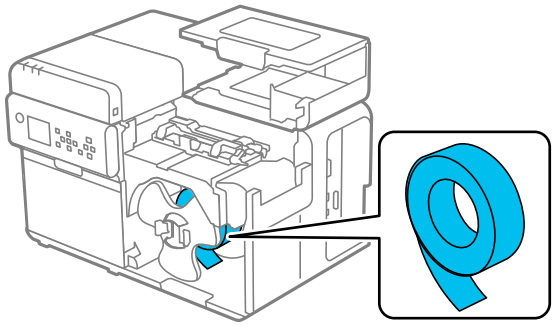
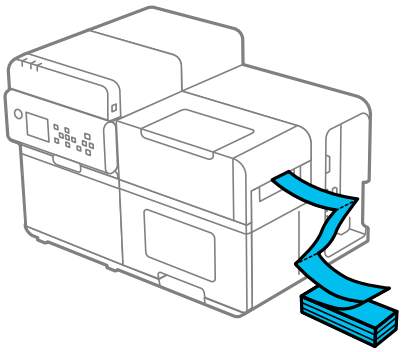
- 内部供給（ロール紙）
- 外部供給（ファンフォールド紙）
- 外部供給（ロール紙）

用紙検出

- ギャップ検出
- ブラックマーク検出
- タグ（穴検出）
- 検出しない

用紙のセット・交換

ここでは、用紙のセット・交換手順について説明します。用紙の交換方法は、給紙方法（内部供給/外部供給）によって異なります。

内部供給	外部供給
ロール紙をプリンター内部へセットし、本体内部から用紙を供給します。 ☞「ロール紙のセット」41 ページ 	ファンフォールド紙をプリンター右側面へ置き、本体外部から用紙を供給します。 ☞「ファンフォールド紙のセット」46 ページ 

参考	• 外部供給でロール紙をお使いになる場合は、お客様ご自身で外部装置（用紙供給装置）をご用意ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。 • ロール紙を巻き取る場合は、オプションの巻き取り装置（TU-RC8000）をご用意ください。巻き取り装置の操作手順は以下を参照してください。 ☞「巻き取り装置」89 ページ • 用紙の形状や形態、種類を変更する際には、用紙をセットする前に操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙設定を変更してください。 ☞「本体の画面から確認する」26 ページ ☞「プリンタードライバーの設定」36 ページ

ロール紙のセット

用紙のセット手順を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

「ロール紙/ファンフォールド紙のセット(CW-C8020)」

用紙のセット手順を操作パネルで見る

［？（ヘルプ）］-［操作方法が知りたい］-［印刷用紙のセット］-［内部供給］

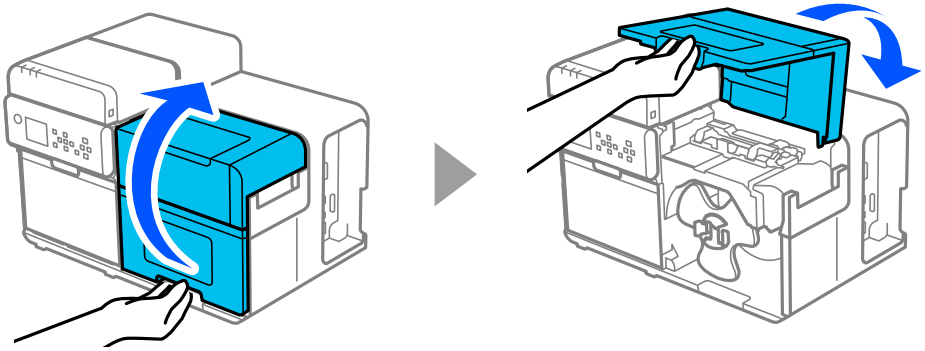
⚠注意	プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 プリンターの電源を入れます。

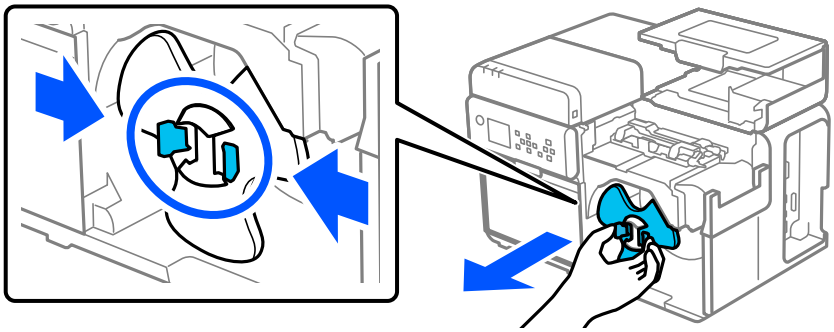
「電源を入れる」25 ページ

2 ホーム画面が表示されるまで待ちます。

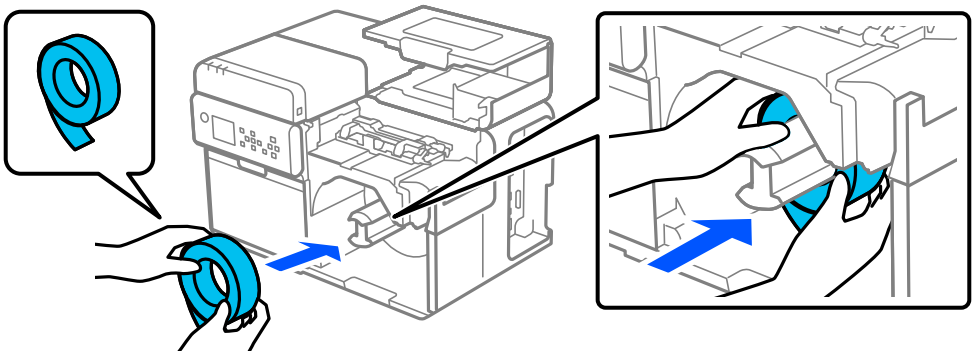
3 用紙カバーを開けます。



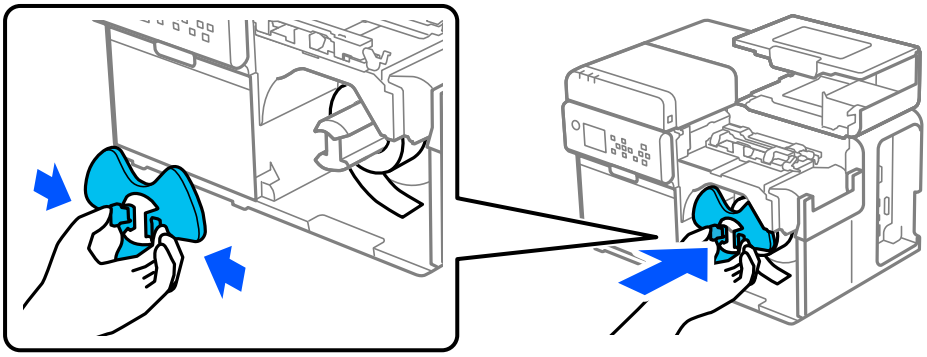
4 ロール紙フランジのレバーを内側へ押しながら、軸から取り外します。



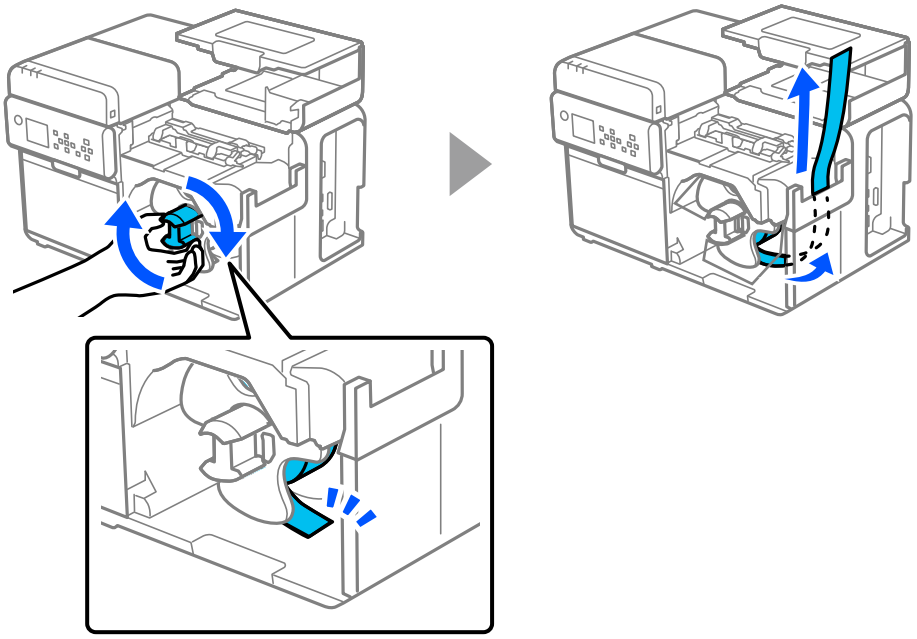
5 ロール紙を軸に取り付け、ロール紙の芯の部分を押して奥まではめ込みます。



6 ロール紙フランジのレバーを押しながら、軸に取り付けます。ロール紙フランジとロール紙の間にすき間ができないように奥まで移動させます。

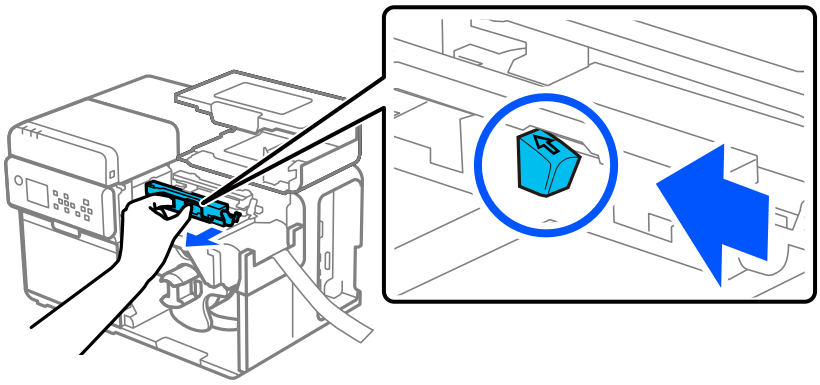


7 用紙の先端が底面に付くまでロール紙フランジを矢印方向に回して、ロール紙の先端を約 **300 mm** 引き出します。

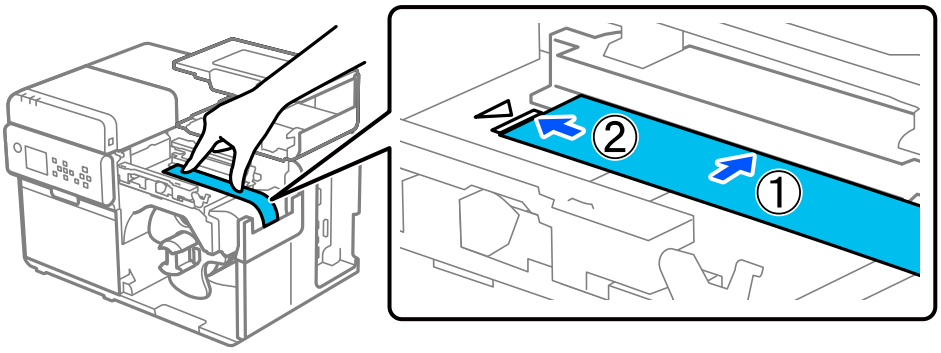


8 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。

9 レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。

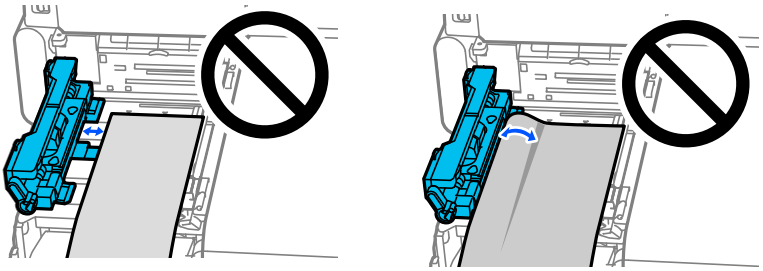


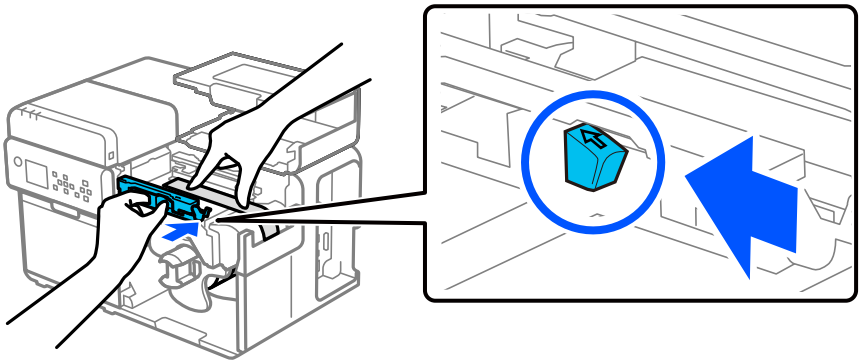
10 ロール紙を用紙ガイドに沿わせ、先端を ▽ マークに合わせます。



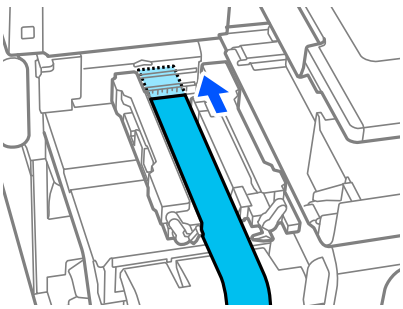
⚠注意	用紙の先端に、折れや破れ、しわ、剥がれなどの変形がないか確認してください。変形したまま挿入すると、正常に紙送りがされなかったり、印字ずれや紙詰まりの原因となったりします。

11 用紙が浮かないように手で押さえ、レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）を用紙の幅に合わせます。

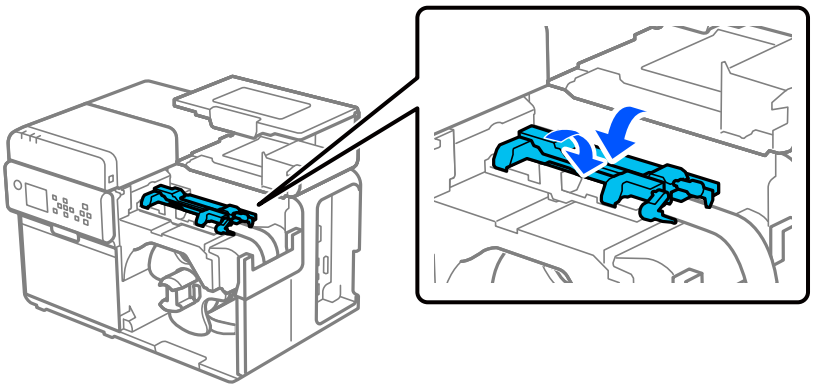
⚠注意	用紙ガイド（可動）が紙幅に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因となります。以下の点に注意してください。 • 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間にすき間をあけない • 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない 



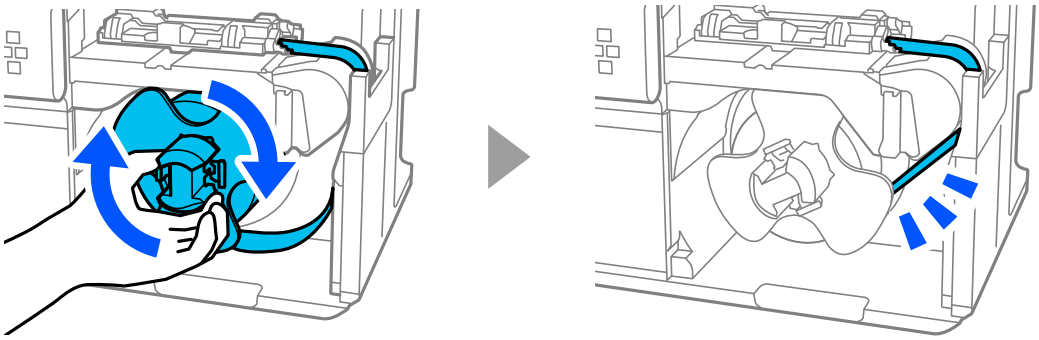
12 自動で給紙されるまで、用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。



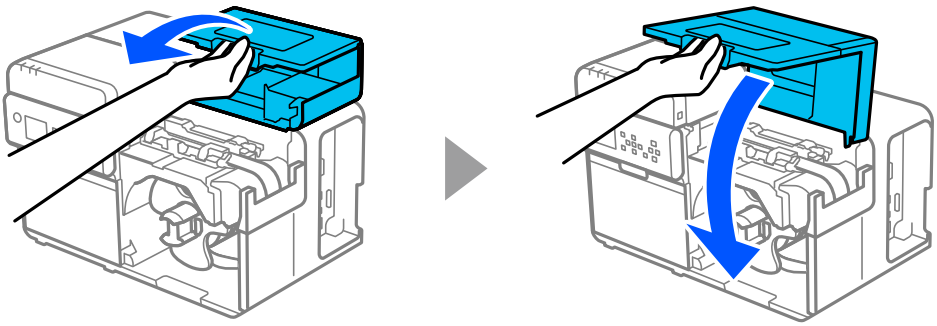
13 用紙押さえを閉めます。



14 ロール紙フランジを矢印方向へ回して、ロール紙のたるみを取ります。

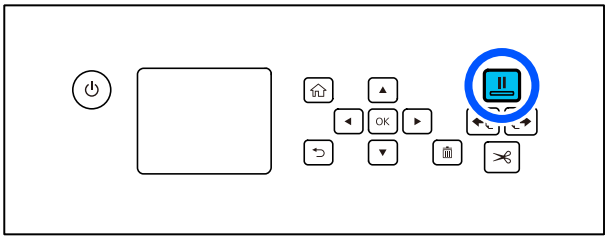


15 用紙カバーを閉めます。



16 ‖（ポーズ）ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。



ファンフォールド紙のセット

用紙のセット手順を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

☞「ロール紙/ファンフォールド紙のセット(CW-C8020)」

用紙のセット手順を操作パネルで見る

［？（ヘルプ）］-［操作方法が知りたい］-［印刷用紙のセット］-［外部供給］

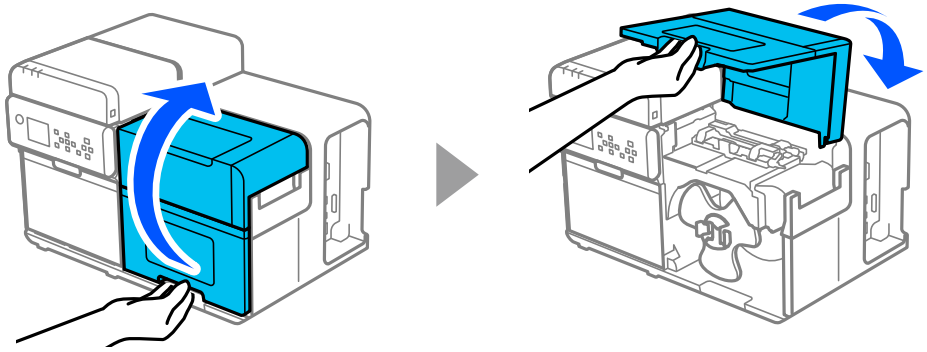
⚠注意	プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 プリンターの電源を入れます。

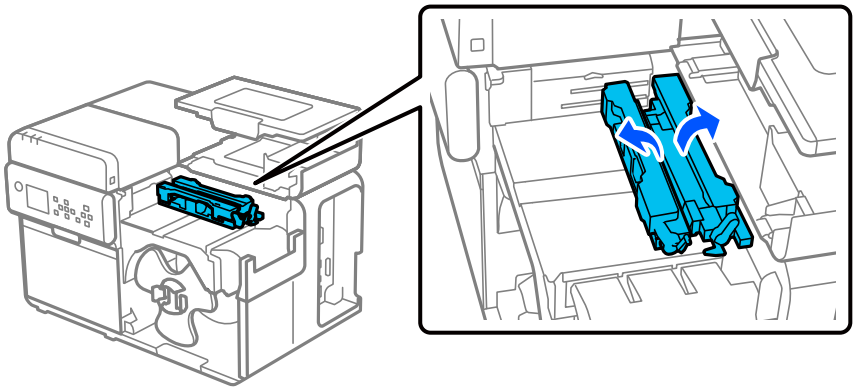
☞「電源を入れる」25 ページ

2 ホーム画面が表示されるまで待ちます。

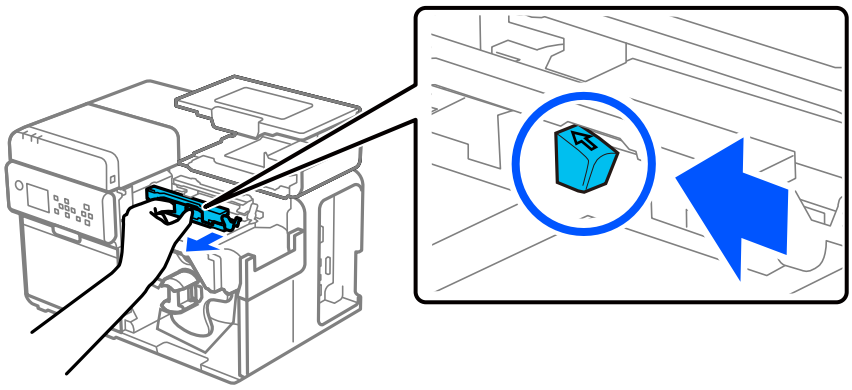
3 用紙カバーを開けます。



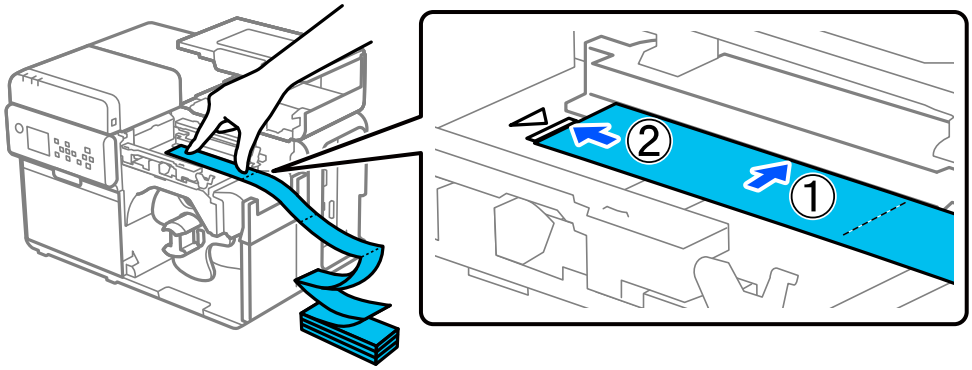
4 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



5 レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。

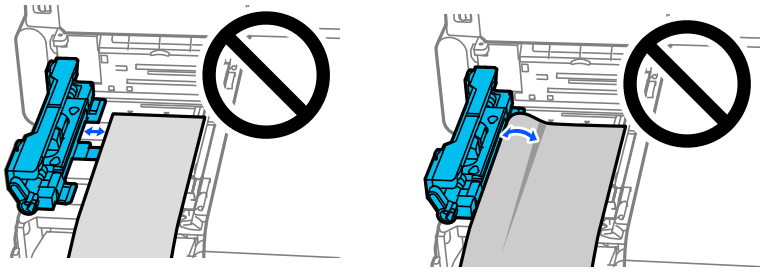


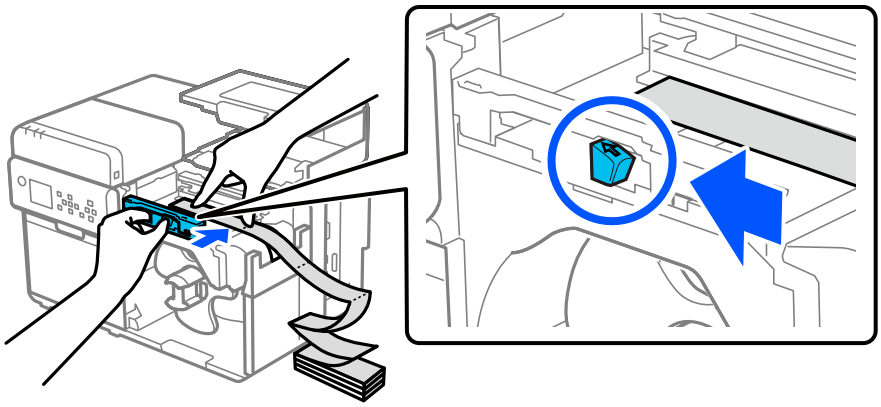
6 ファンフォールド紙を用紙ガイドに沿わせ、先端を ▽ マークに合わせます。



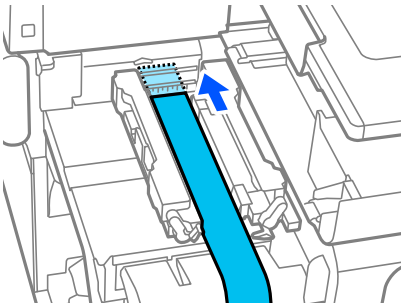
⚠注意	用紙の先端に、折れや破れ、しわ、剥がれなどの変形がないか確認してください。変形したまま挿入すると、正常に紙送りがされなかったり、印字ずれや紙詰まりの原因となったりします。

7 用紙が浮かないように手で押さえ、レバー（青）を押しながら手前の用紙ガイド（可動）を用紙の幅に合わせます。

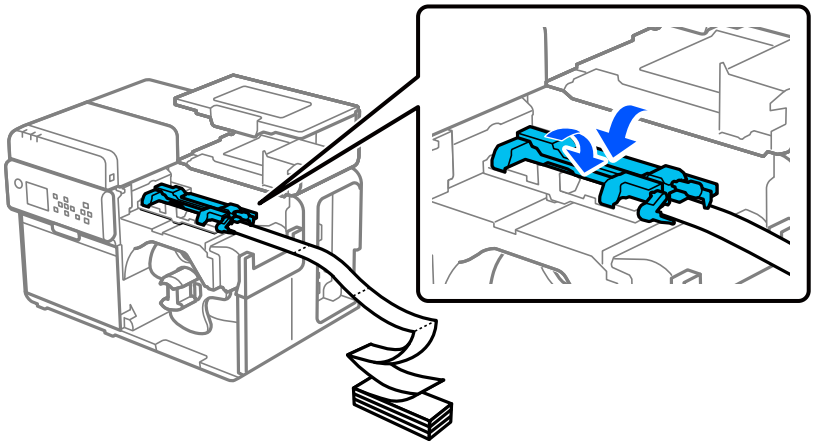
⚠注意	用紙ガイド（可動）が紙幅に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因となります。以下の点に注意してください。 • 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間にすき間をあけない • 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない 



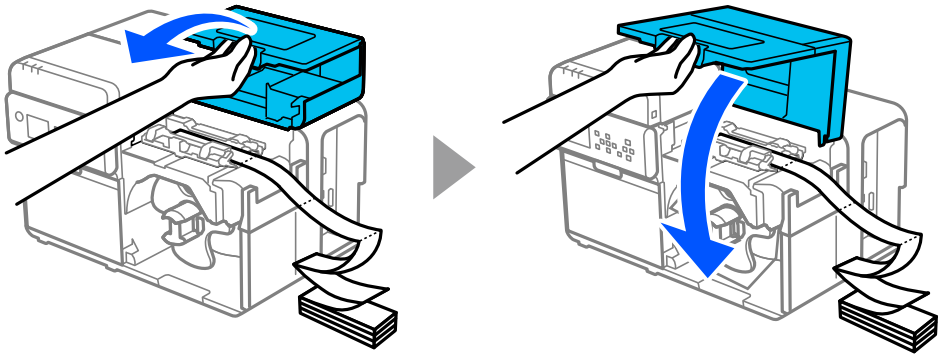
8 自動で給紙されるまで、用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。



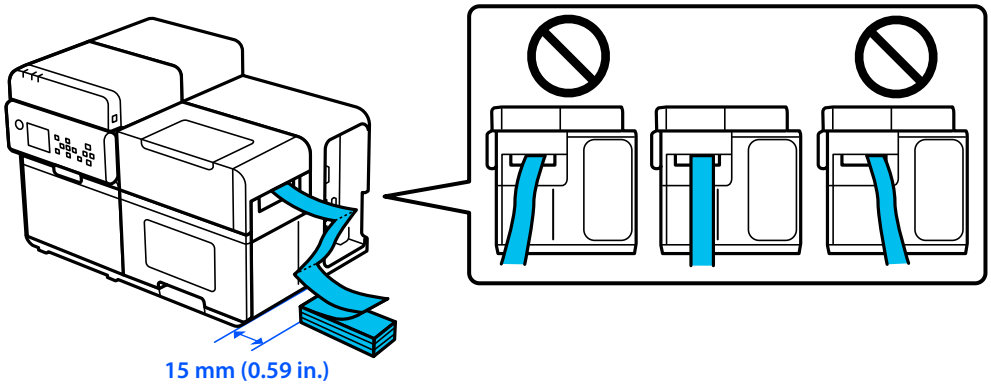
9 用紙押さえを閉めます。

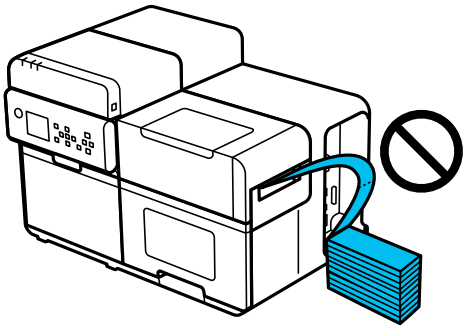


10 用紙カバーを閉めます。



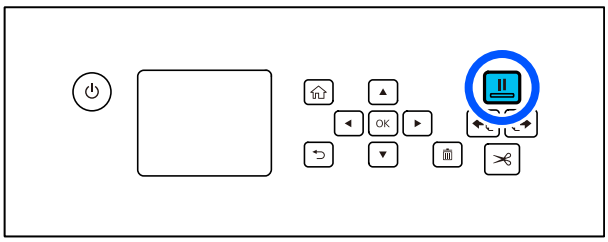
11 ファンフォールド紙をプリンターから **15 mm（0.59 in.）**以上離し、まっすぐ給紙されるように置きます。



⚠注意	ファンフォールド紙の給紙口付近で用紙が湾曲しないよう設置してください。用紙が変形し、紙詰まりや印字不良が発生する恐れがあります。 

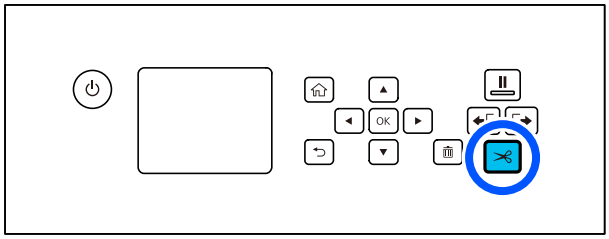
12 ❚❚（ポーズ）ボタンを押します。

ホーム画面で印刷可能か確認してください。

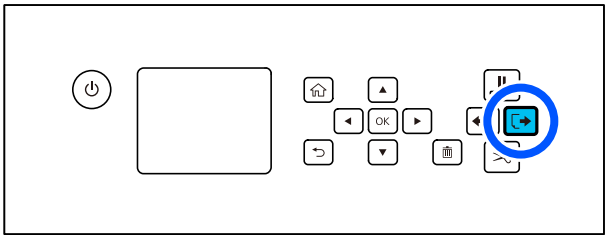


用紙を取り除く

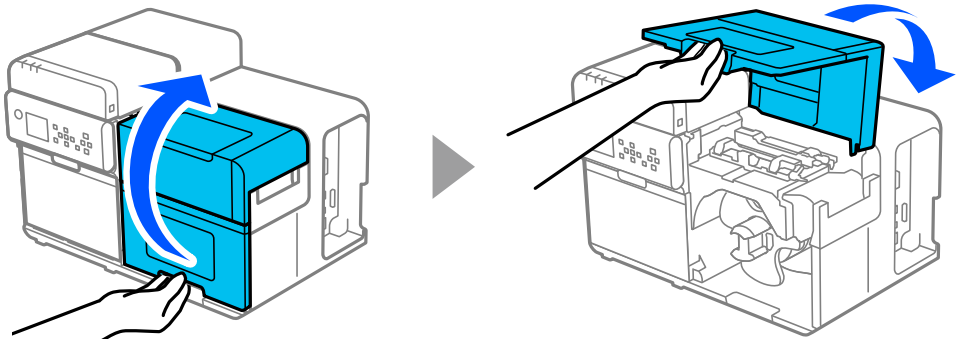
1 用紙をカットします。



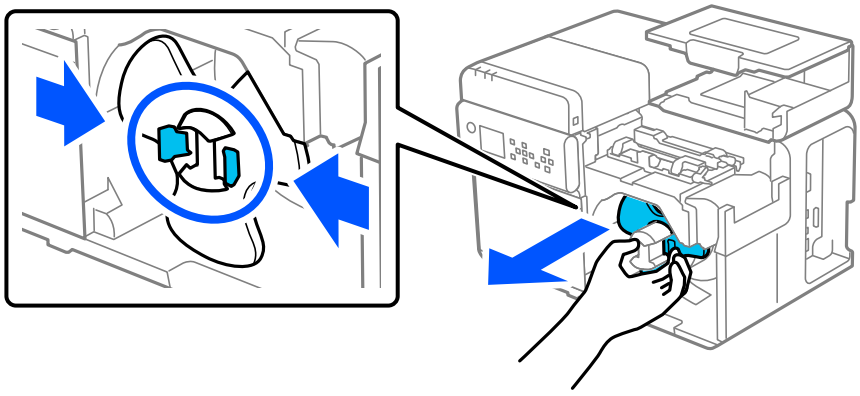
2 用紙が止まるまで （バックフィード）ボタンを押し続けます。



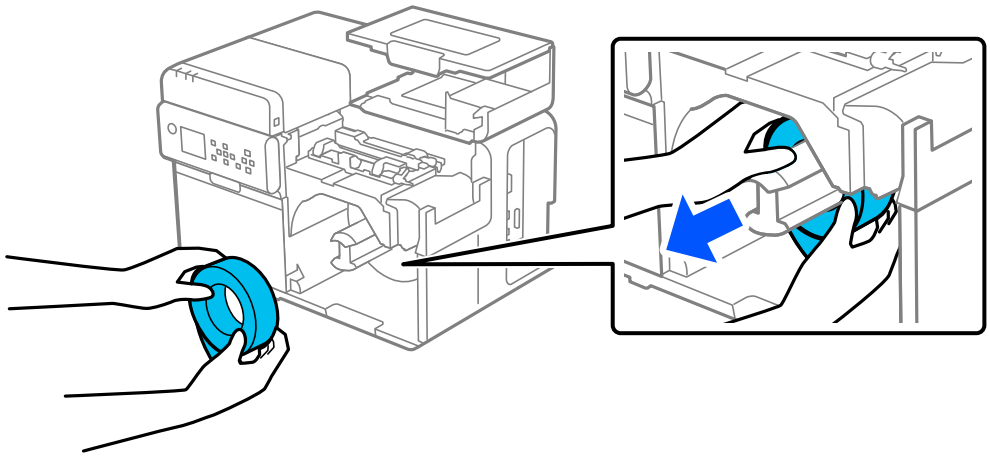
3 用紙カバーを開けます。



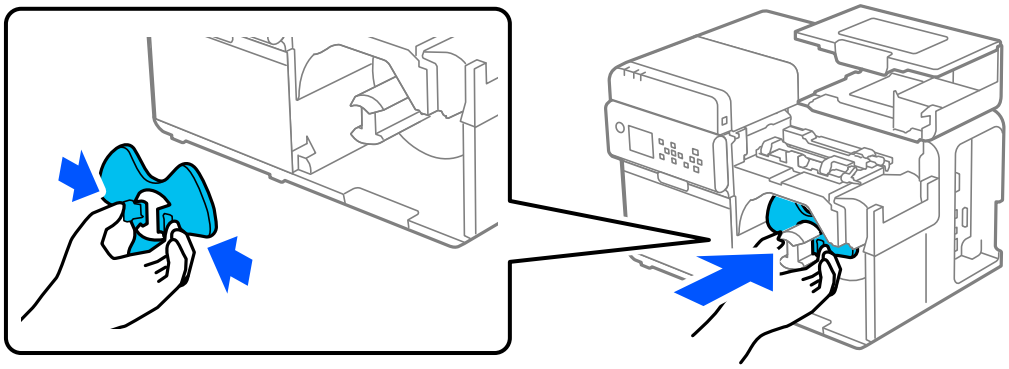
4 ロール紙フランジのレバーを内側へ押しながら、軸から取り外します。



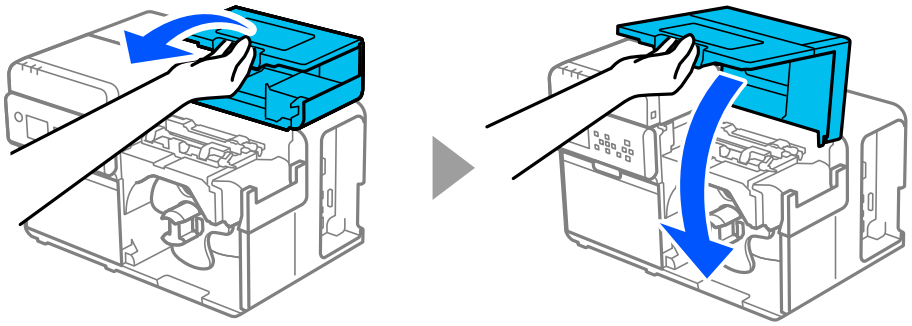
5 軸からロール紙を取り外します。



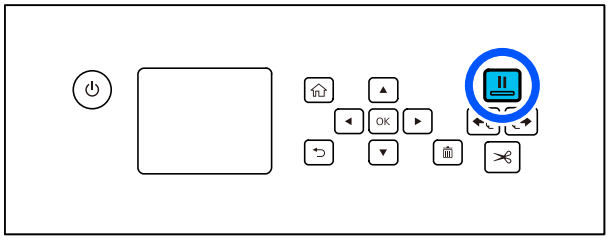
6 軸にロール紙フランジを取り付けます。



7 用紙カバーを閉めます。



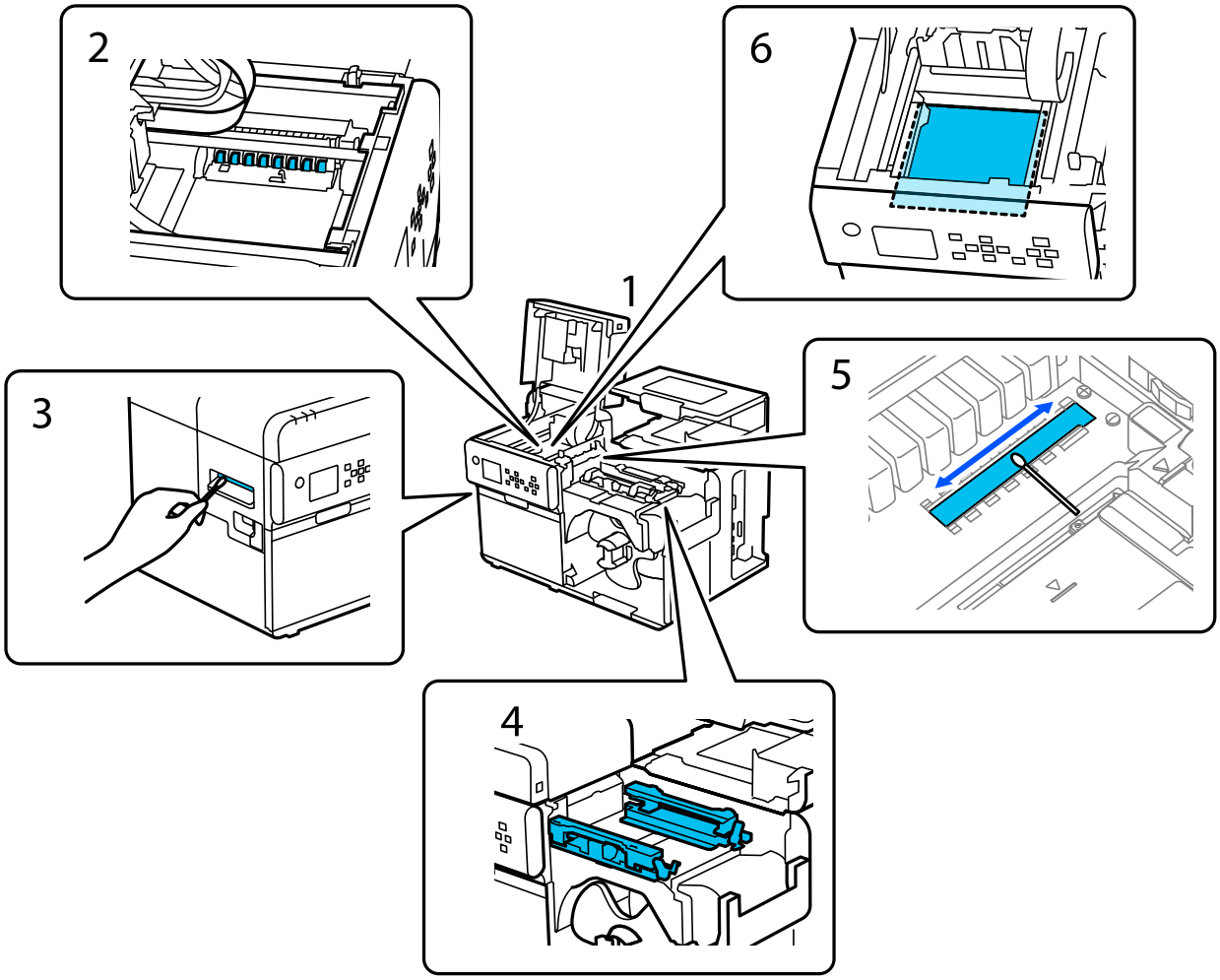
8 ⏸（ポーズ）ボタンを押します。



以上で用紙を取り除くは完了です。
引き続き用紙をセットする場合は、「ロール紙のセット」41 ページ、「ファンフォールド紙のセット」46 ページを参照してください。

メンテナンス

本章では、本製品のメンテナンス方法について説明しています。



1. 「外装のクリーニング」53 ページ
2. 「紙押さえローラーのクリーニング」57 ページ
3. 「オートカッターのクリーニング」54 ページ
4. 「用紙ガイドのクリーニング」55 ページ
5. 「ギャップ検出器（発光側）のクリーニング」59 ページ
6. 「プラテンのクリーニング」61 ページ

外装のクリーニング

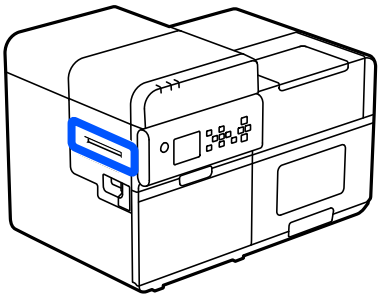
プリンターの電源を切ってから、乾いた布か湿らせた不織布で汚れを拭き取ってください。このとき、電源ケーブルは必ずコンセントから取り外してください。

⚠注意	汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

オートカッターのクリーニング

クリーニング方法を動画で見る
https://support.epson.net/p_doc/95d/
☞「プリンターのクリーニング(CW-C8020)」

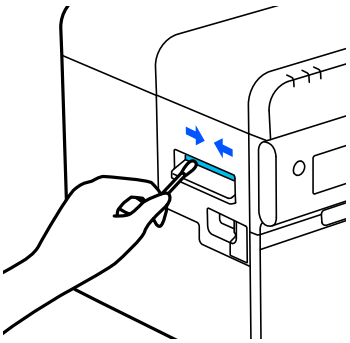
オートカッターの固定刃にラベルや紙粉・粘着物が付着していると、切れ味が鈍くなる場合があります。
以下の手順でオートカッターの固定刃をクリーニングします。



1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
☞「用紙を取り除く」50 ページ

2 プリンターの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外します。

3 以下の図のように、アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、オートカッター固定刃に付着したラベルや紙粉・粘着物を、両端から中央に向かって除去します。



用紙ガイドのクリーニング

クリーニング方法を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

「プリンターのクリーニング(CW-C8020)」

用紙ガイドのクリーニング方法を操作パネルで見る

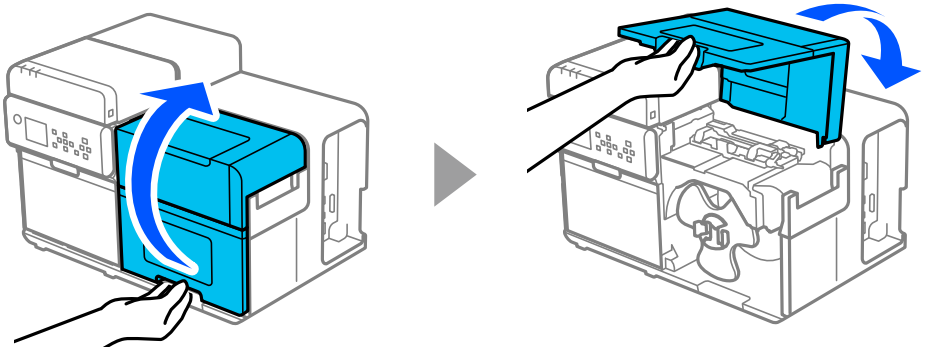
［？（ヘルプ）］-［操作方法が知りたい］-［用紙ガイドを清掃する］

用紙ガイドにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、印刷品質が低下する可能性があります。
以下の手順で用紙ガイドをクリーニングします。

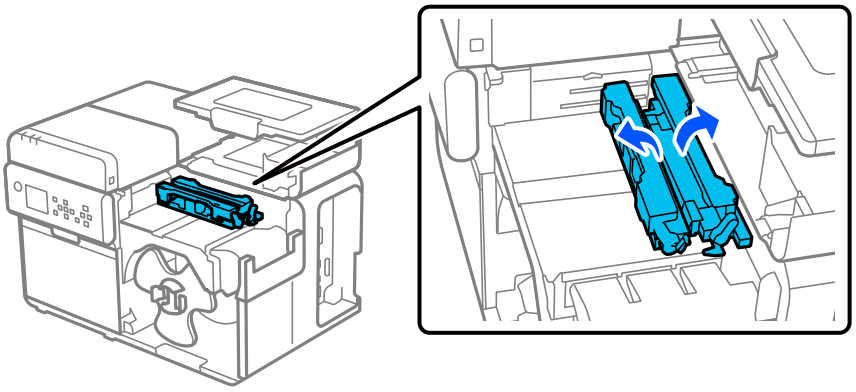
1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。

「用紙を取り除く」50 ページ

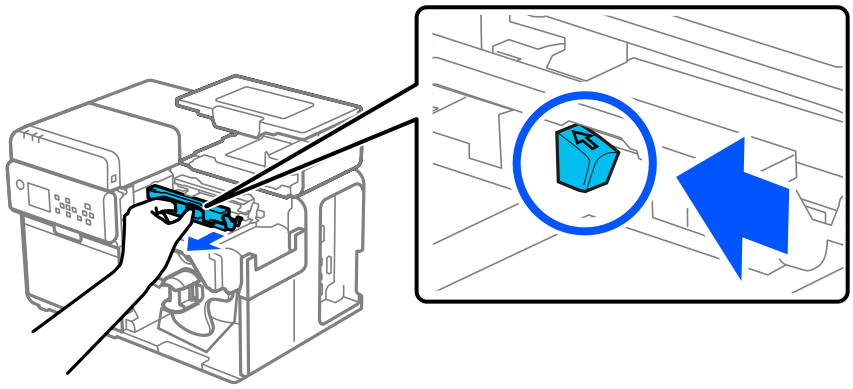
2 用紙カバーを開けます。



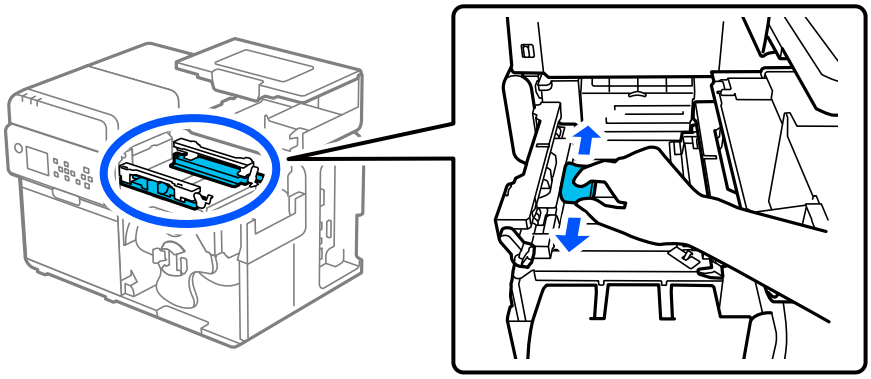
3 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。



4 レバー（青）を押しながら用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



5 水で濡らして固く絞った柔らかい布で用紙ガイドに付着したラベルや紙粉・粘着物を取り除きます。



⚠注意	汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

紙押さえローラーのクリーニング

クリーニング方法を動画で見る

https://support.epson.net/p_doc/95d/

「プリンターのクリーニング(CW-C8020)」

紙押さえローラーのクリーニング方法を操作パネルで見る

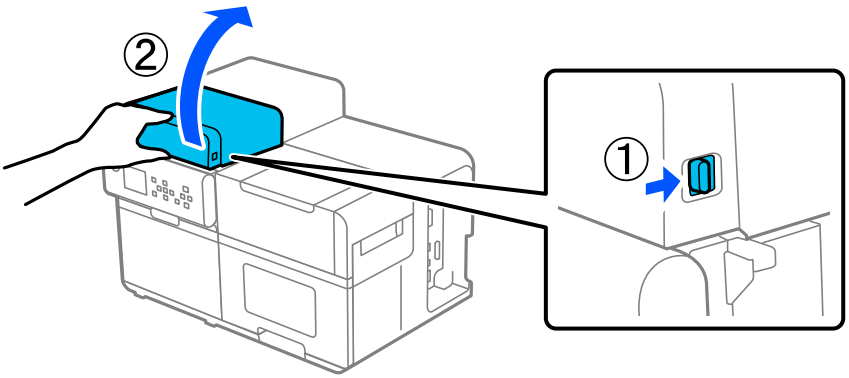
［？（ヘルプ）］-［操作方法が知りたい］-［紙押さえローラーを清掃する］

紙押さえローラーにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がかすれたりする可能性があります。
以下の手順で紙押さえローラーをクリーニングします。

1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。

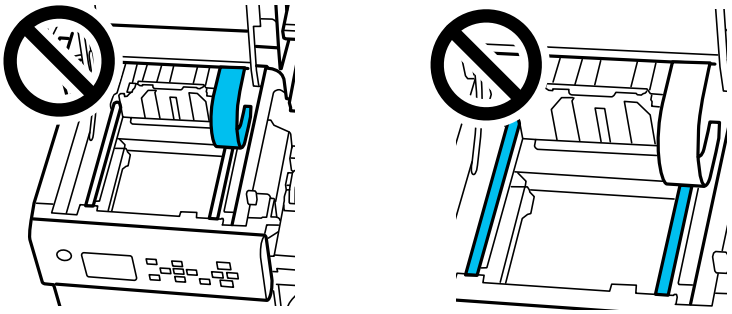
「用紙を取り除く」50 ページ

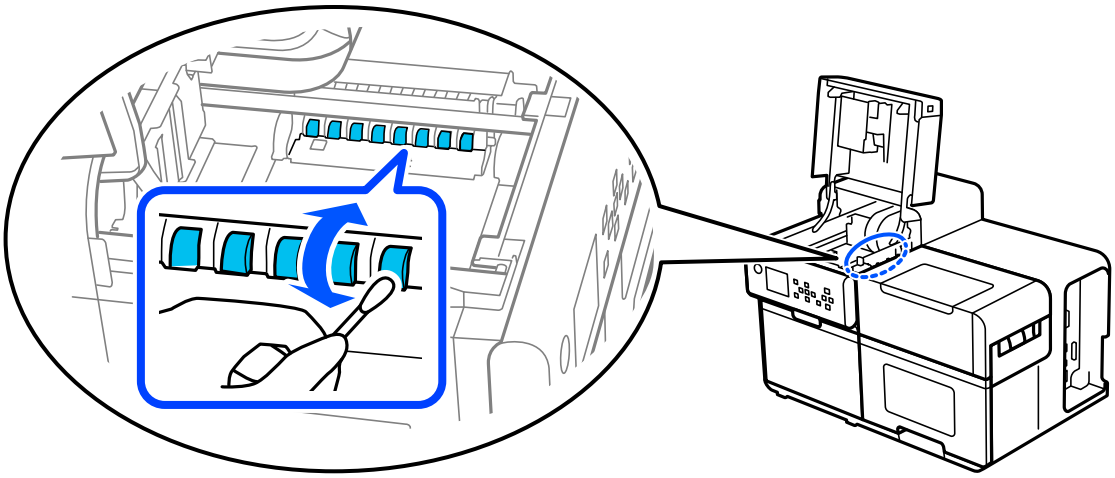
2 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。



3 アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、紙押さえローラーに付着したラベルや紙粉・粘着物を取り除きます。

⚠注意	図で示した箇所には触らないでください。





ギャップ検出器（発光側）のクリーニング

ギャップ検出器の発光側にある透明なプレートにインクや紙粉・粘着物などが付着すると、下記の状態が発生する可能性があります。

- セットした用紙が給紙されない
- ギャップが検出できずに用紙が排紙されてエラーになってしまう

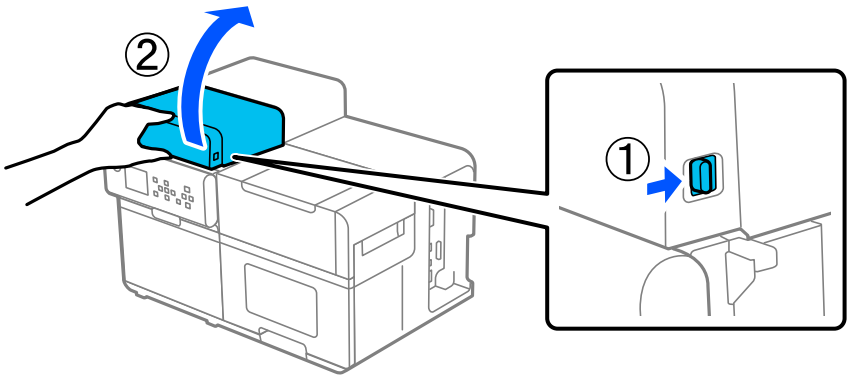
以下の手順でクリーニングしてください。

1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。

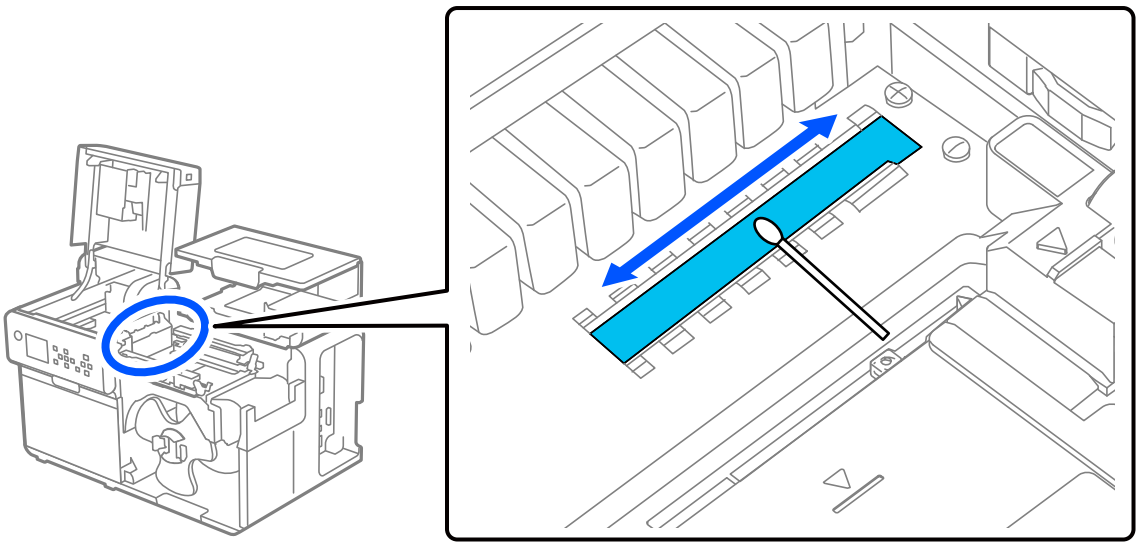
「用紙を取り除く」50 ページ

2 プリンターの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外します。

3 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。



4 用紙挿入口カバーを引き上げ、水に濡らした綿棒でギャップ検出器（発光側）の透明なプレートに付着したインクや紙粉・粘着物を取り除きます。



⚠注意	• クリーニング後に用紙経路が濡れていないことを確認してください。 • 汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

プラテンのクリーニング

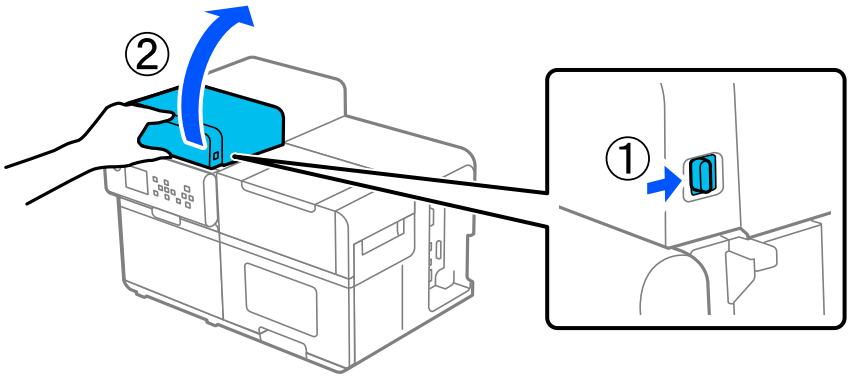
クリーニング方法を動画で見る
https://support.epson.net/p_doc/95d/
☞「プリンターのクリーニング(CW-C8020)」

プラテンにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がずれたりする可能性があります。
以下の手順でプラテンをクリーニングします。

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

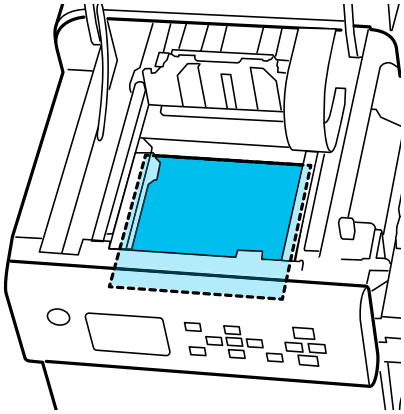
2 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
☞「用紙を取り除く」50 ページ

3 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。



4 水で濡らして固く絞った柔らかい布や綿棒でプラテンに付着したラベルや紙粉・粘着物を取り除きます。

⚠注意	汚れを除去する際には、プラテンに布や綿棒の繊維が残らないようにしてください。

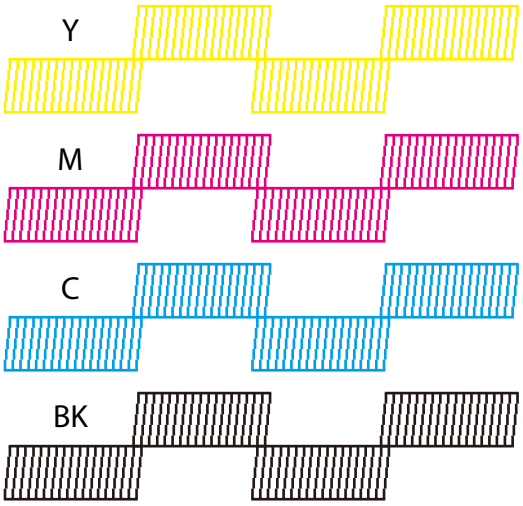
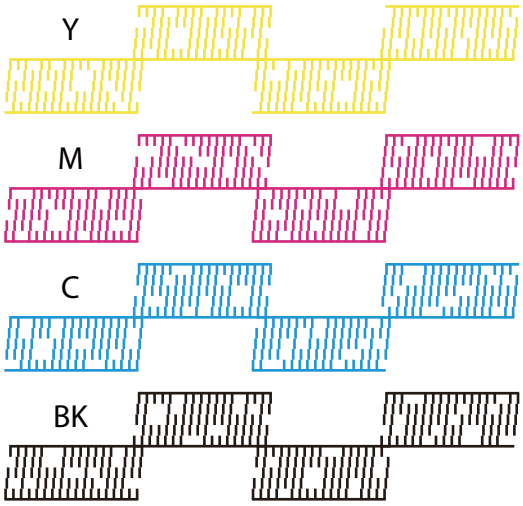


5 上カバーを閉めます。

プリントヘッドのクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。
印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。
ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

例：フォトインク仕様のノズルチェックパターン

正常	目詰まり
	

ノズルチェックパターンの印刷

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。

参考	ノズルチェックパターンの印刷幅は、パネルの設定に従います。 ただし、パネルの設定より用紙の幅が狭い場合は、用紙の幅を検出して自動でノズルチェックパターンの印刷幅を調整します。

ノズルチェックパターン印刷に使用できる用紙形態

- 連続紙
- 全面ラベル
- 約 112 mm 以上のダイカットラベル*[1]
- タグ*[2]

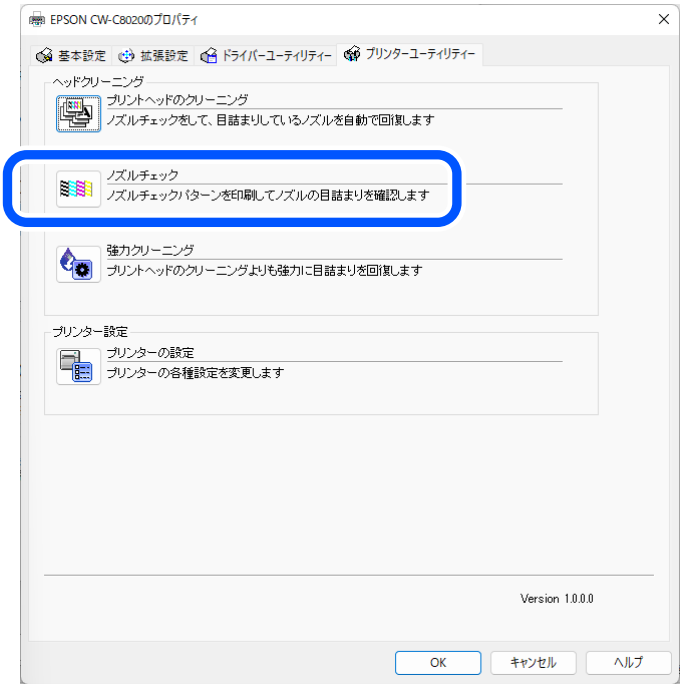
*1：ダイカットラベルの長さが約 112 mm 未満の場合、ノズルチェックパターンの一部が台紙部分に印刷されます。
*2：タグの穴の位置を考慮しないため、インクがプラテンに印刷される場合があります。

操作パネルから印刷する

［Menu］-［プリンターのお手入れ］-［プリントヘッドのノズルチェック］

プリンタードライバーから印刷する

［プリンターユーティリティー］タブの、［ノズルチェック］をクリックします。



WebConfig から実行する

［メンテナンス］タブの［ノズルチェック］を選択した後、［開始］をクリックします。

参考	WebConfig については、CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

ヘッドクリーニング

ノズルが目詰まりしているときは［プリントヘッドのクリーニング］をしてください。［プリントヘッドのクリーニング］を実行してもノズル抜けが改善しないときは、［強力クリーニング］を行ってください。
以下の手順でプリントヘッドのクリーニングができます。

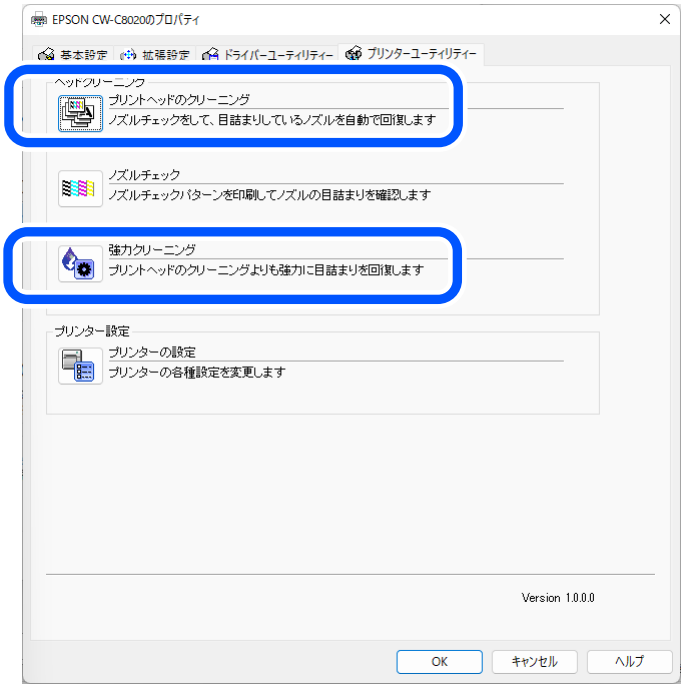
重要	• ヘッドクリーニング中は電源を切ったり、カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。 • ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。 • インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングができないことがあります。インクパックを交換してから実行してください。 「インクパックの交換」29 ページ • ［強力クリーニング］は［プリントヘッドのクリーニング］よりも多くのインクを消費します。

操作パネルから実行する

［Menu］-［プリンターのお手入れ］-［プリントヘッドのクリーニング］
［Menu］-［プリンターのお手入れ］-［強力クリーニング］

プリンタードライバーから実行する

［プリンターユーティリティー］タブの、［プリントヘッドのクリーニング］または［強力クリーニング］をクリックします。



WebConfig から実行する

［メンテナンス］タブの［ヘッドクリーニング］を選択します。クリーニングの種類を［自動］または［強力クリーニング］から選択した後で［開始］をクリックします。

参考	WebConfig については、CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

困ったときは

本章では、トラブルが発生した時の対処方法を説明しています。ここに記載されていないトラブルについては、CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

画面にメッセージが表示された

画面表示	対処方法と参照先
案内 給紙に失敗しました。 用紙をセットするか、給紙方法を変更してください。	［給紙方法］、［用紙形態］の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて［給紙方法］、［用紙形態］を設定し直してください。 ☞「プリンタードライバーの設定」36 ページ
案内 ［用紙検出方法］で設定された用紙が検出できません。 設定された用紙をセットするか、［用紙設定］を変更してください。	［用紙検出方法］の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて［用紙検出方法］を設定し直してください。 ☞「プリンタードライバーの設定」36 ページ
（ホーム画面上） 用紙をセットしてください。	用紙をセットしてください。 ☞「用紙のセット・交換」40 ページ
案内 セットされている用紙のサイズが、用紙レイアウトの設定と異なります。 操作方法を確認して用紙を交換するか、印刷を中止して用紙レイアウトの設定を変更してください。	印刷領域のサイズにあった用紙をセットしてください。または、用紙サイズに合わせて印刷領域を設定してください。 ☞「用紙のセット・交換」40 ページ
案内 ラベルが検出できませんでした。操作方法に従って用紙をセットし直すか、印刷を再開するか選択してください。	セットしている用紙を取り除いた後、再度用紙をセットしてください。 ☞「用紙を取り除く」50 ページ ☞「用紙のセット・交換」40 ページ
用紙なし ロール紙がセットされていません。	ロール紙をセットしてください。 ☞「用紙のセット・交換」40 ページ
用紙なし ファンフォールド紙がセットされていません。	ファンフォールド紙をセットしてください。 ☞「用紙のセット・交換」40 ページ
案内 用紙が詰まりました。	紙詰まりを取り除いた後、用紙をセットしてください。 ☞「ロール紙が詰まった」72 ページ ☞「ファンフォールド紙が詰まった」77 ページ
案内 用紙のセット手順が正しくありません。 用紙ガイドユニットから用紙を取り除いて用紙カバーを閉め、[Pause] ボタンを押してください。	セットしている用紙を取り除いた後、再度用紙をセットしてください。 ☞「用紙を取り除く」50 ページ ☞「用紙のセット・交換」40 ページ ロール紙の終端状態によっては用紙エンドが検出できず、エラーが発生する可能性があります。用紙の終端状態を確認してください。 詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。 検出器調整ツマミ（受光側）と検出器調整ツマミ（発光側）が同じ位置にあることを確認してください。 それでも解決しない場合は、検出器のキャリブレーションを実施してください。 詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

画面表示	対処方法と参照先
案内 パターン１ キャリブレーションに失敗しました。 設定を確認して、再度実行してください。 パターン２ キャリブレーションに失敗しました。 ［了解］を押してから、用紙をセットしなおすか用紙を変更してください。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認し、用紙をセットし直してください。 ☞「用紙のセット・交換」40 ページ ページ間距離が 6 mm を超えると、キャリブレーションできません。 ☞「対応用紙」14 ページ 再度エラーが発生する場合は、検出器の特性上お使いの用紙に対応できません。用紙を変更してください。
案内 カット済みのため、カットできません。	一度カットした位置でもう一度カットボタンを押すと表示されます。 印刷するか、フィードボタンを押して用紙を送り出すことでカットできるようになります。
メンテナンスエラー インクパックが正しくセットされていません。	十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ
（ホーム画面上でインク残量に[！] が付く）	インクパック交換時期が近いため、交換用のインクパックを準備します。 インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ 取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。
初期充填に必要なインク量が不足しています。	十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ
案内 インク量が限界値以下のためインクパック交換が必要です。	十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ
メンテナンスエラー インクパックが認識できません。 対応方法をご確認ください。	インクパックを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいインクパックに交換してください。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ
案内 純正品ではありません。	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。 純正品以外の品質や信頼性について保証できません。 非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
案内 本製品用のインクパックではありません。	本製品用ではありません。インクパックが認識されないなどのエラーが発生する可能性があります。
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが装着されていません。 型番：SJMB7500	新しいメンテナンスボックスを取り付けてください。 ☞「メンテナンスボックスの交換手順」33 ページ
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが認識できません。 型番：SJMB7500	メンテナンスボックスを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいメンテナンスボックスに交換してください。 ☞「メンテナンスボックスの交換手順」33 ページ
（ホーム画面上） メンテナンスボックスの交換時期が近づいています。	メンテナンスボックス交換時期が近いため、交換用メンテナンスボックスを準備します。 「メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。ボックスの交換が必要です。」と画面に表示されたら、メンテナンスボックスを交換してください。 ☞「メンテナンスボックスの交換手順」33 ページ

画面表示	対処方法と参照先
メンテナンスエラー メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。 ボックスの交換が必要です。 型番:SJMB7500	交換用メンテナンスボックスを取り付けてください。 ☞「メンテナンスボックスの交換手順」33 ページ
案内 メモリー不足のため印刷できませんでした。	システム管理者に問い合わせ、不要なファイルを削除してください。
プリンターエラー 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	1.製品の電源を切ります。 2.排紙口付近に紙詰まりや異物がないことを確認します。 3.製品の電源を入れます。 再度プリンターエラーが発生する場合は、お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（6 桁または 8 桁の英数字コード番号）を必ず伝えてください。
案内 インク残量が不足しているためクリーニングできませんでした。 クリーニングに必要なインク残量が不足していてもプリンターは使用できます。	クリーニングを実施するときは、十分な残量のあるインクパックを取り付けてください。 ☞「インクパックの交換手順」29 ページ
案内 メンテナンスボックスの空き容量が不足しているためクリーニングできませんでした。 クリーニングに必要な空き容量が不足していてもプリンターは使用できます。	クリーニングを実施するときは、十分な空き容量があるメンテナンスボックスを取り付けてください。 ☞「メンテナンスボックスの交換手順」33 ページ
案内 一時停止中 ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。	ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。許容できないときは［プリントヘッドのクリーニング］を行ってください。 ☞「プリントヘッドのクリーニング」62 ページ
案内 ノズルの状態を検出できないため印刷品質が低下する可能性があります。	ノズル自己診断システムが無効になっているため印刷品質が低下する可能性があります。必要に応じて設定を有効にしてください。 また、合計 16 ノズル以下のノズル詰まりが発生した場合は、近傍のノズルを使用して補完印刷ができます。 詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。
エラーメッセージ ご利用のネットワークとプリンターの接続環境が不安定です。 IEEE802.3az(省電力イーサネット)機能を[オフ]にすると解決できる可能性があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線 LAN 接続する場合、接続したりしなかったりして不安定になる、接続できなくなる、通信速度が遅くなることがあります。 以下の手順で、コンピューターとプリンターの IEEE802.3az を無効にして接続してください。 1.コンピューターとプリンターそれぞれにつながっている LAN ケーブルを外します。 2.コンピューターの IEEE802.3az が有効になっている場合は、無効にします。 3.LAN ケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。 4.プリンターで、［Menu］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［接続診断］で、プリンターの IP アドレスを確認します。 5.コンピューターで、Web Config を起動します。 Web ブラウザーを起動し、プリンターの IP アドレスを入力してください。 6.［ネットワーク設定］タブ-［有線 LAN］の順に選択します。 7.［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。 8.［次へ］をクリックします。 9.［設定］をクリックします。 10.コンピューターとプリンターにつながっている LAN ケーブルを外します。 11.手順 2 でコンピューターの IEEE802.3az を無効にした場合は、有効にします。 12.手順 1 で外した LAN ケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。 上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

画面表示	対処方法と参照先
（ホーム画面上） メンテナンスコール:部品寿命間近 XXXXXXXX	部品寿命間近です。 お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（6 桁または 8 桁の英数字コード番号）を必ず伝えてください。 部品寿命に到達すると印刷できません。情報表示欄のメッセージは部品を交換することで表示されなくなります。
部品寿命到達 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXXXX	部品寿命に到達したため、印刷できません。 お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（6 桁または 8 桁の英数字コード番号）を必ず伝えてください。
クラウドサービスと通信できません。 クラウドサービスとの接続状態や設定を確認してください。 詳細は管理者にお問い合わせください。	プリンターが Loftware Cloud との接続に失敗しています。 詳細はシステム管理者にお問い合わせください。

印刷品質に問題がある

縦方向（紙幅方向）に白スジが印刷される

原因	対処方法と参照先
印刷した用紙をバックフィードしています。	• 印刷した用紙をそのままバックフィードすると、紙押さえローラーが用紙を踏みつけ印刷品質が劣化します。 印刷した用紙は必ず（カット）ボタンでカットしてください。 • バックフィードの前に（カット）ボタンで印刷した用紙をカットして取り除くか、［印刷後用紙動作設定］を［カットしない（カット位置で停止）］または［カットしない（指定位置で停止）］以外に設定してください。 ［印刷後用紙動作設定］はプリンタードライバーの［用紙設定］で設定できます。 ☞「印刷後用紙動作設定」38 ページ

横方向（紙送り方向）に白スジが印刷される

原因	対処方法と参照先
ドット抜けが発生しています。	［ノズルチェック］を使用して、ノズルの目詰まりを確認してください。 ☞「ノズルチェックパターンの印刷」62 ページ ノズルの目詰まりが発生している場合、［プリントヘッドのクリーニング］を実行してください。 ［プリントヘッドのクリーニング］を 3 回以上繰り返してもドット抜けが解消されない場合は、［強力クリーニング］を実施してください。 ☞「プリントヘッドのクリーニング」62 ページ ノズル自己診断システムの設定が無効になっている場合は、有効（デフォルト）に変更してください。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

白スジや黒スジが印刷される

原因	対処方法と参照先
バンディング低減の設定値が適切ではありません。	［バンディング低減］を実行してください。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

印刷された色がおかしい

原因	対処方法と参照先
初期充填後にプリンターを移動させた場合、振動や衝撃により、指定した色が出ない場合（混色）があります。	［プリントヘッドのクリーニング］を実行して混色がなくなることを確認してください。 ☞「プリントヘッドのクリーニング」62 ページ

印刷がぼやける・文字が二重になる・印刷位置がずれる

原因	対処方法と参照先
用紙ガイド幅と用紙幅が合っていません。	用紙ガイド幅が用紙幅に合っているか確認してください。 ☞「用紙のセット・交換」40 ページ

原因	対処方法と参照先
紙送り方向と紙幅方向のインク着弾位置が適切ではありません。	［色ずれ調整］を実行してください。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。
用紙とプリントヘッドとのギャップが適切ではありません。	［ヘッド - 用紙間距離］を調整してください。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

用紙が汚れる・インクが付着する

原因	対処方法と参照先
プラテンの吸引力が足りずに用紙とプリントヘッドが擦れ、用紙が汚れている可能性があります。	［用紙吸引強度］を調整してください。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。
プリントヘッドと用紙とのギャップが適切ではありません。	［ヘッド - 用紙間距離］を調整してください。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる

原因	対処方法と参照先
お使いの用紙と用紙検出設定が合っていません。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。 ☞「プリンタードライバーの設定」36 ページ

用紙をセットしても給紙されない

原因	対処方法と参照先
検出器の位置が正しくありません。	検出器調整ツマミ（受光側）と検出器調整ツマミ（発光側）が同じ位置にあることを確認し、[検出器のキャリブレーション]を実施してください。詳しくは CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。

コンピューターから印刷できない/急に印刷できなくなった

プリンタードライバーのインストール確認

コンピューターに必要なソフトウェア、アプリケーションがインストールされているか確認します。
本製品で印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーがインストールされているかは、以下のように確認します。

1 ［プリンターとスキャナー］を開きます。

2 本製品のプリンター名が表示されているか確認します。

表示されていない場合、プリンタードライバーがインストールされていません。

3 プリンタードライバーをインストールします。

☞「最新版のダウンロード」4 ページ

電源がオンにならない

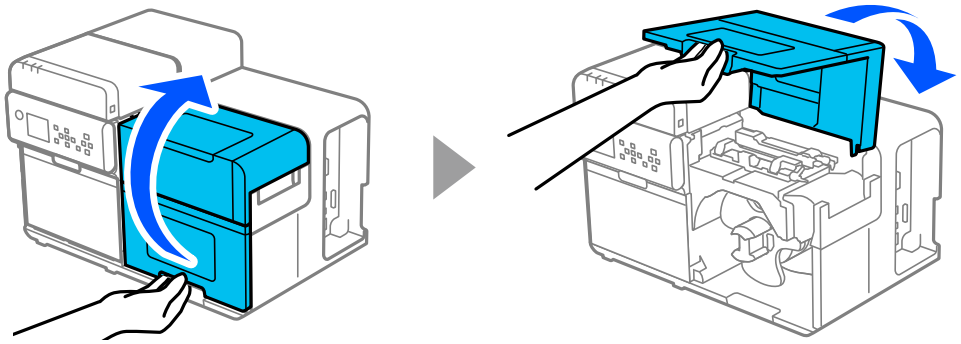
電源ケーブルが本体とコンセントに正しく接続されているか確認します。
☞「本体右側面（コネクター）」20 ページ

PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない

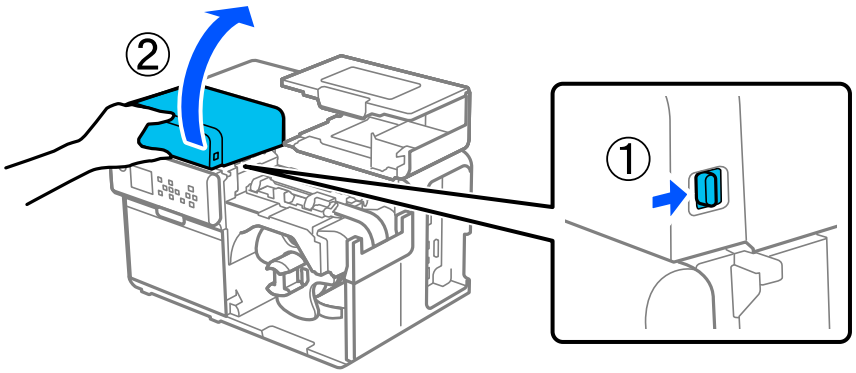
コンピューター上で「印刷ジョブの表示」画面から印刷ジョブのキャンセルを行った場合、データが途中で途切れ、プリンター本体のパネル表示が「印刷中」のままとなる可能性があります。
この状態を解除するには、操作パネルの（キャンセル）ボタンを押し、［すべてのフォーマット］を行ってください。
上記の操作をしてもキャンセルできない場合は、プリンターを再起動してください。

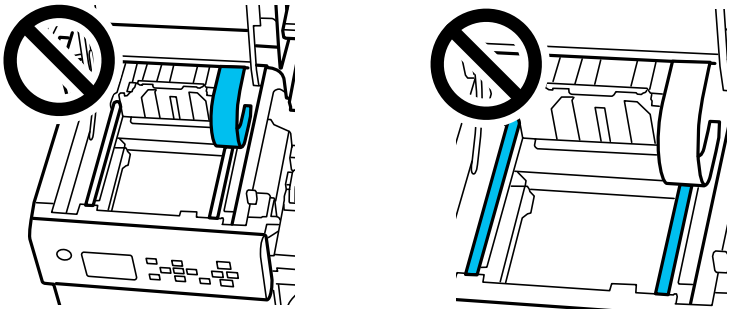
ロール紙が詰まった

1 用紙カバーを開けます。

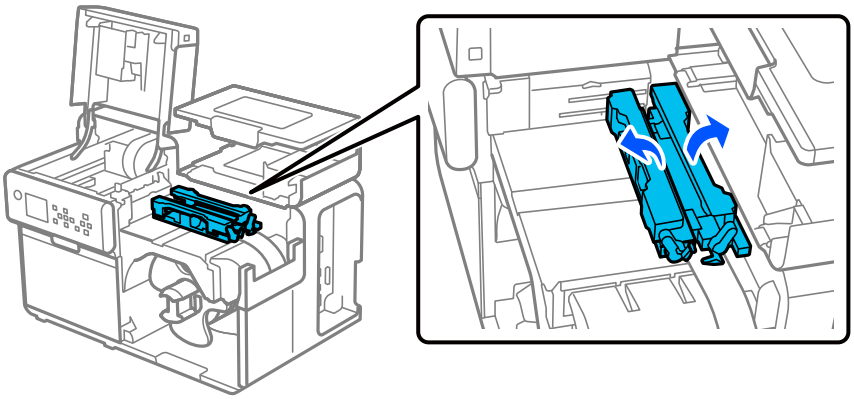


2 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。

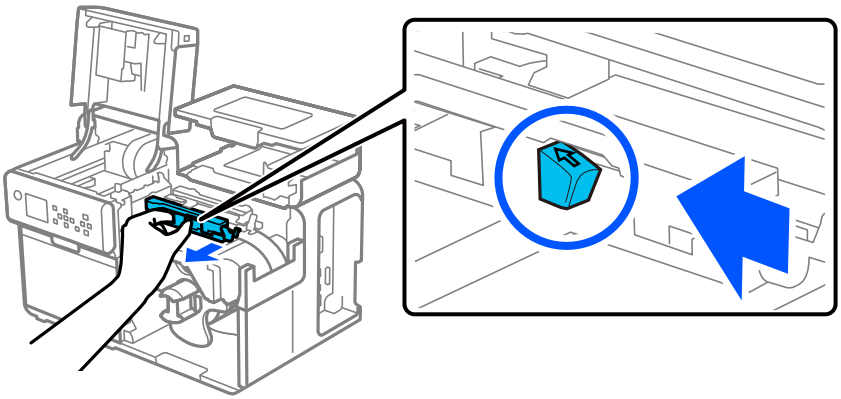


⚠注意	図で示した箇所には触らないでください。 

3 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。

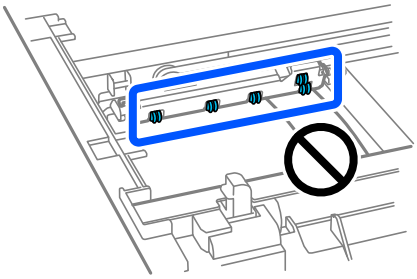


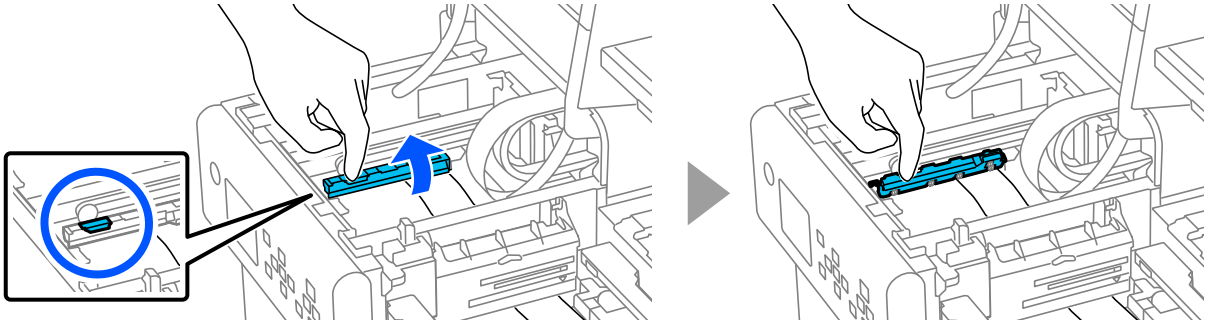
4 レバー（青）を押しながら用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。



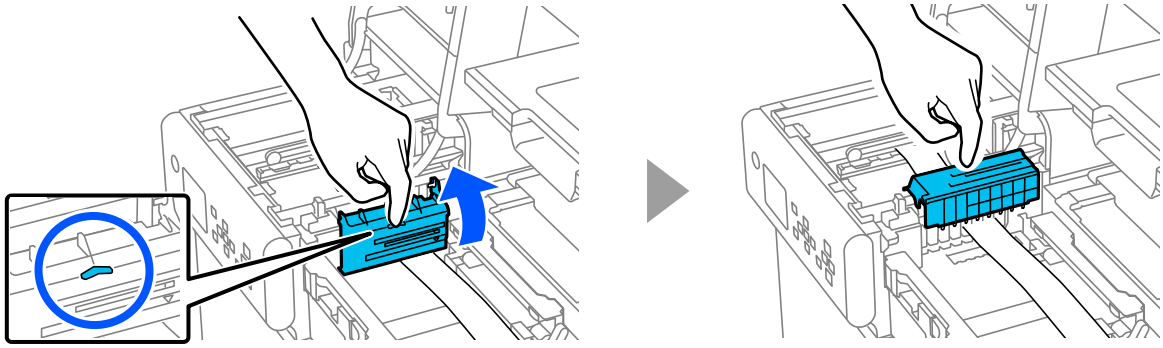
5 丸枠部分に指をかけて紙押さえユニットを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。

⚠注意	図で示した箇所に触れる際は手が汚れる可能性がありますのでご注意ください。

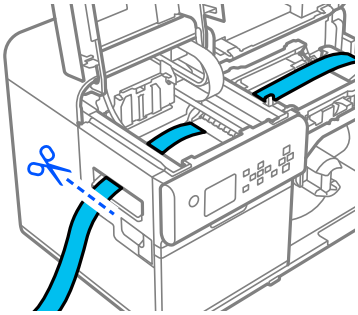




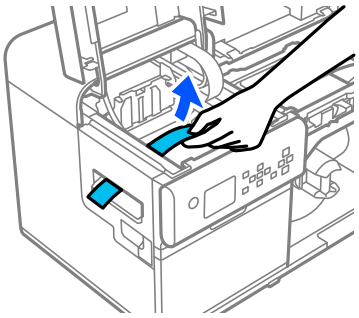
6 丸枠部分に指をかけて用紙挿入口カバーを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。



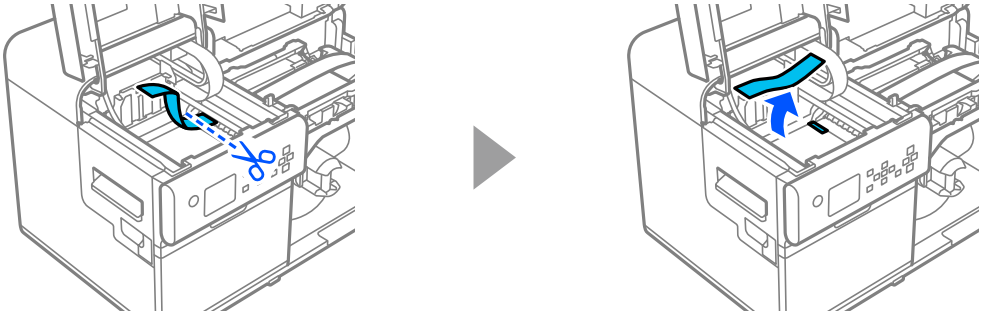
7 用紙を手動でカットします。



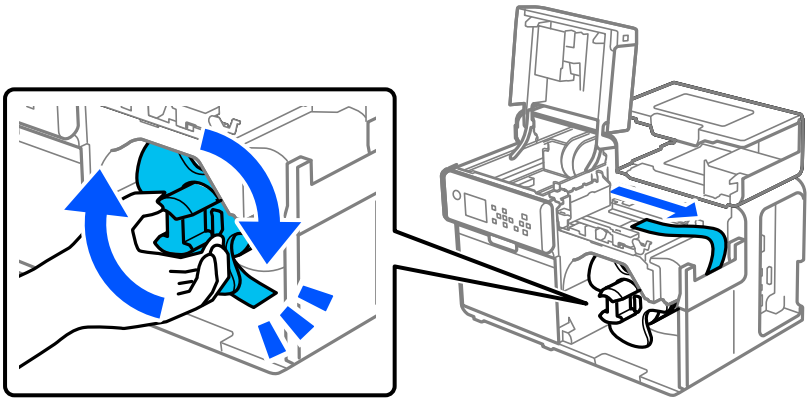
8 インクが手に付着しないように注意して、用紙を引き上げます。



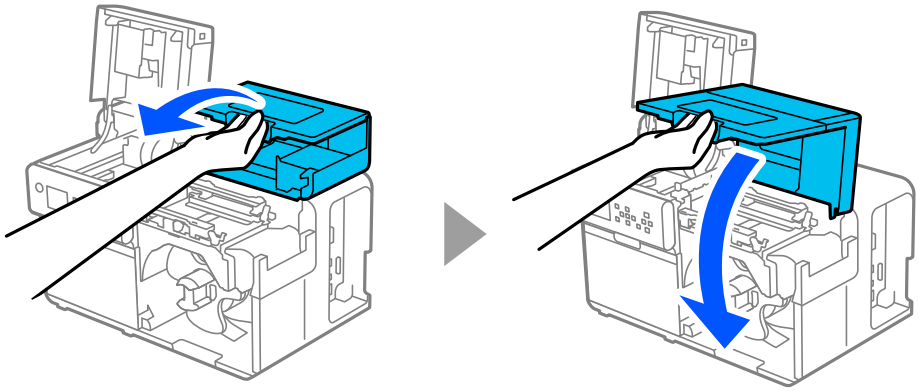
9 紙押さえローラー付近で用紙を手動でカットして取り除きます。



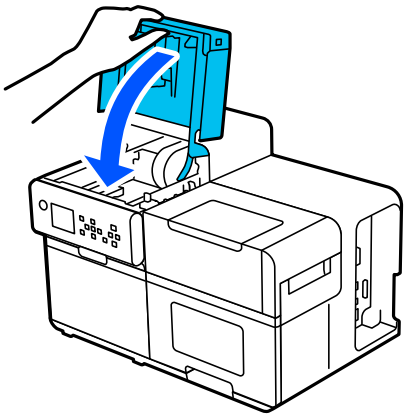
10 ロール紙フランジを矢印方向へ回して、用紙挿入口から用紙を巻き取ります。



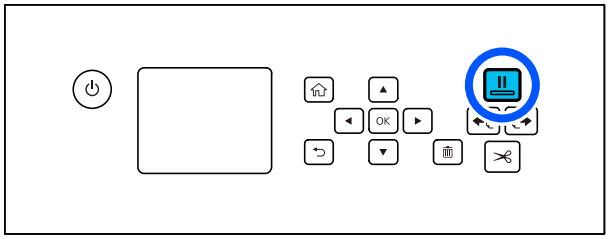
11 用紙カバーを閉めます。



12 上カバーを閉めます。



13 ⏸（ポーズ）ボタンを押します。

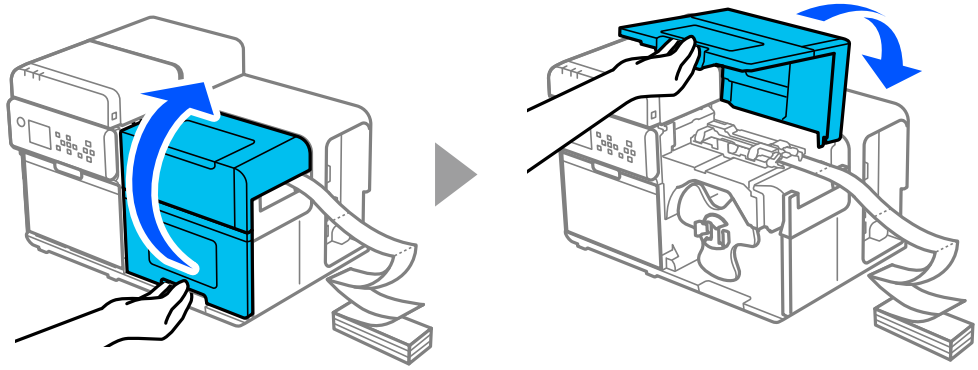


引き続き用紙をセットする場合は、「ロール紙のセット」41 ページを参照してください。

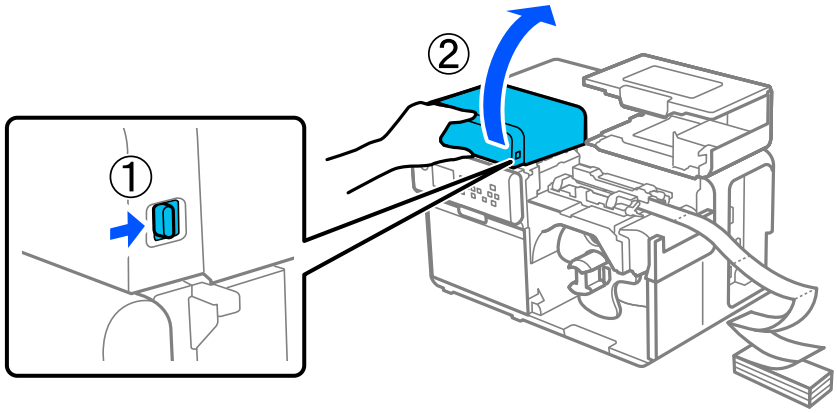
参考	詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。 頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。 ☞「用紙ガイドのクリーニング」55 ページ ☞「紙押さえローラーのクリーニング」57 ページ

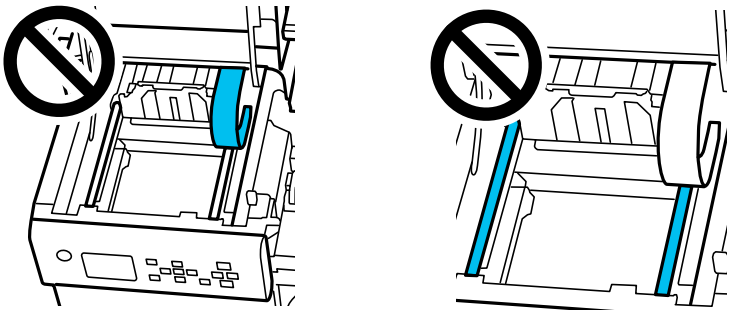
ファンフォールド紙が詰まった

1 用紙カバーを開けます。

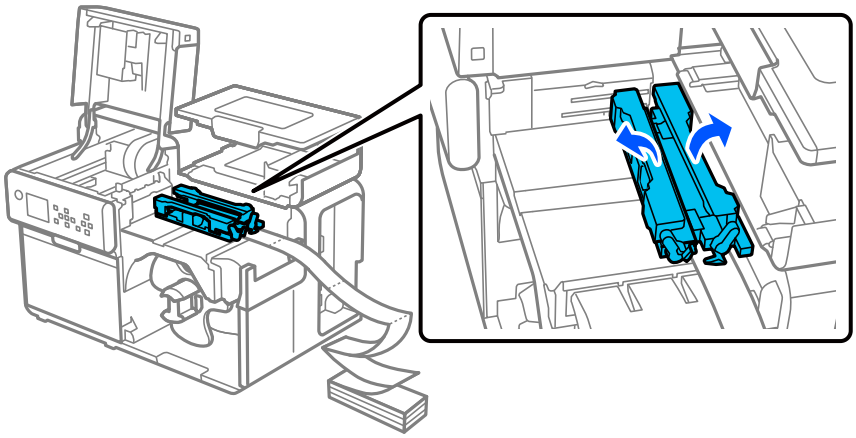


2 右側面のレバーを押して上カバーを開けます。

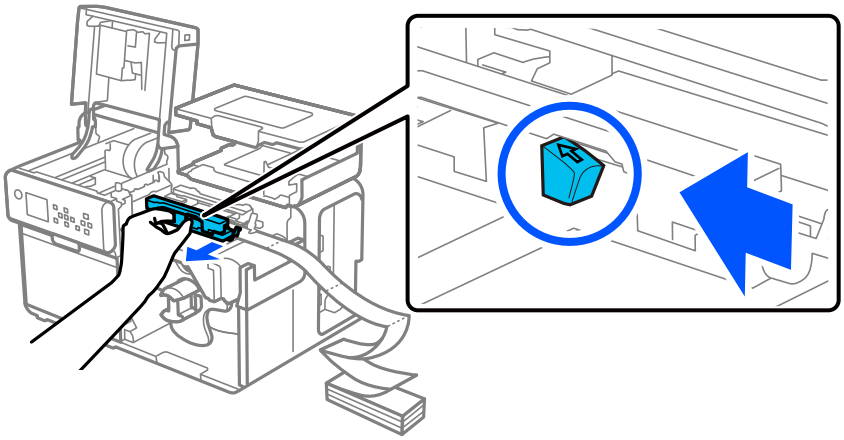


⚠注意	図で示した箇所には触らないでください。 

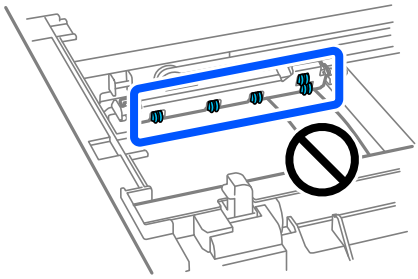
3 用紙カバー内部にある用紙押さえを開きます。

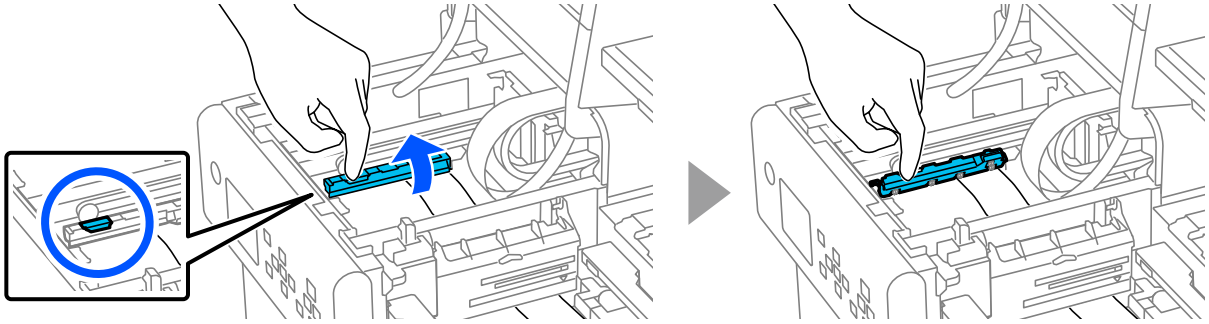


4 レバー（青）を押しながら用紙ガイド（可動）をいっぱいまで広げます。

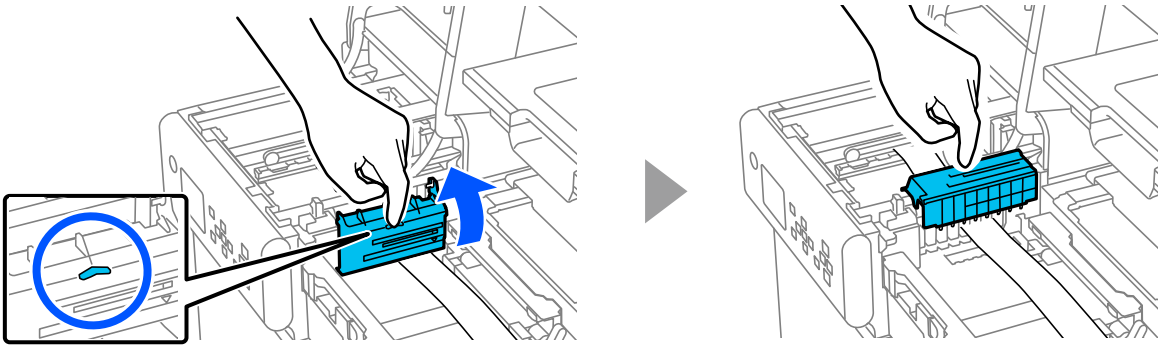


5 丸枠部分に指をかけて紙押さえユニットを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。

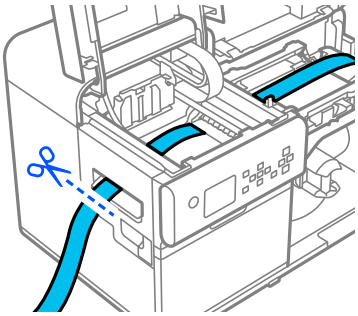
⚠注意	図で示した箇所に触れる際は手が汚れる可能性がありますのでご注意ください。 



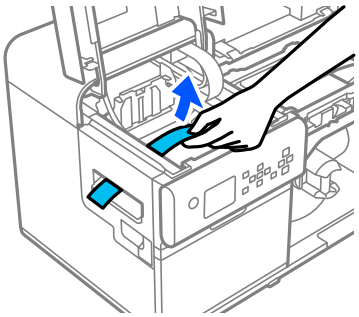
6 丸枠部分に指をかけて用紙挿入口カバーを引き上げ、ラベルが貼り付いていないことを確認します。



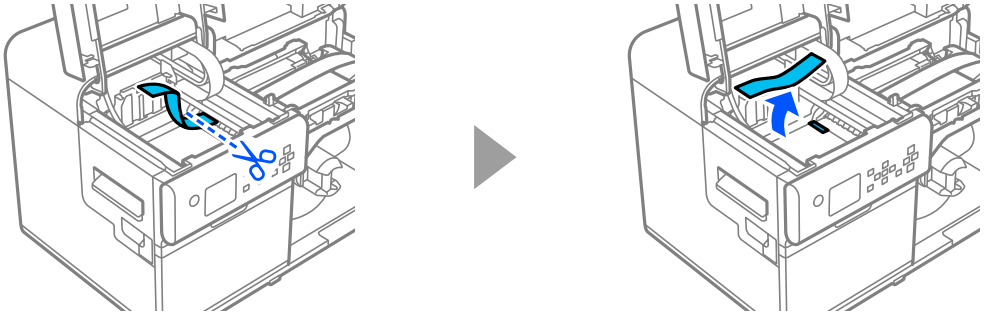
7 用紙を手動でカットします。



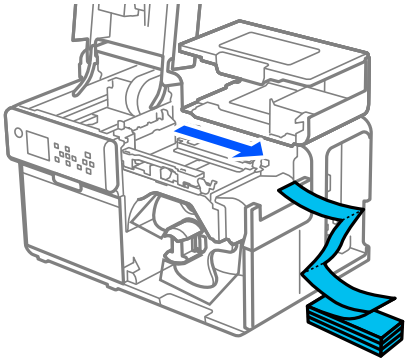
8 インクが手に付着しないように注意して、用紙を引き上げます。



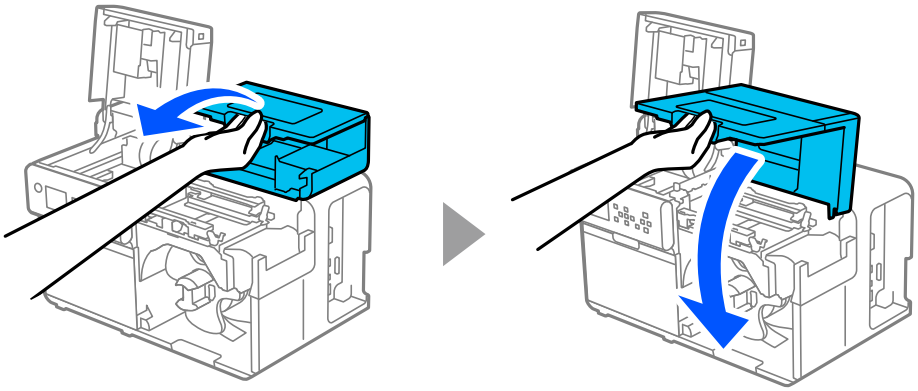
9 紙押さえローラー付近で用紙を手動でカットして取り除きます。



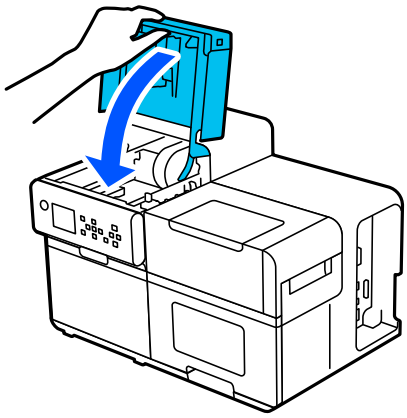
10 用紙挿入口から用紙を引き抜きます。



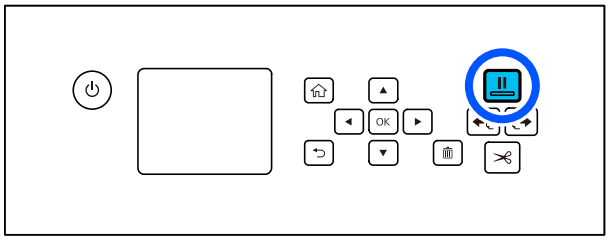
11 用紙カバーを閉めます。



12 上カバーを閉めます。



13 ⏸（ポーズ）ボタンを押します。



引き続き用紙をセットする場合は、「ファンフォールド紙のセット」46 ページを参照してください。

参考	詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。 頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。 「用紙ガイドのクリーニング」55 ページ 「紙押さえローラーのクリーニング」57 ページ

仕様

本章では、本製品の仕様を説明しています。

製品仕様

項目		仕様
印刷方式		ラインインクジェットドットマトリックス方式 4 色カラー印字
紙送り方式		フリクションフィードによる正逆方向送り
オートカッターのカット形態		フルカット（完全切り離し）
印刷解像度		600×1200 dpi
印刷速度		150 mm/s 300 mm/s
インターフェース	有線 LAN*1	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
	無線 LAN	USB コネクターにオプションの無線 LAN ユニット（OT-WL06）を接続
	USB	SuperSpeed USB
質量		約 35 kg

*1 カテゴリー 5e 以上の STP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること。

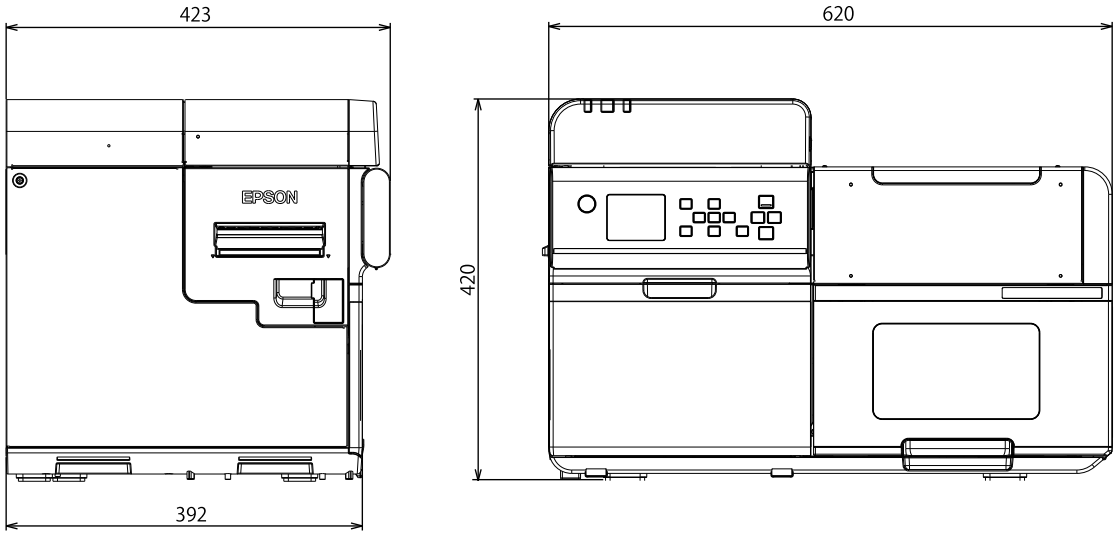
電気的仕様

項目		仕様
電源供給		電源コネクターによる電源供給
定格電圧		100～240 V
定格電流		1.4 A
消費電力	動作時*	平均 約 83.0 W
	待機時	平均 約 3.32 W
	電源オフ時	平均 約 0.41 W

* 動作時は、弊社動作条件による

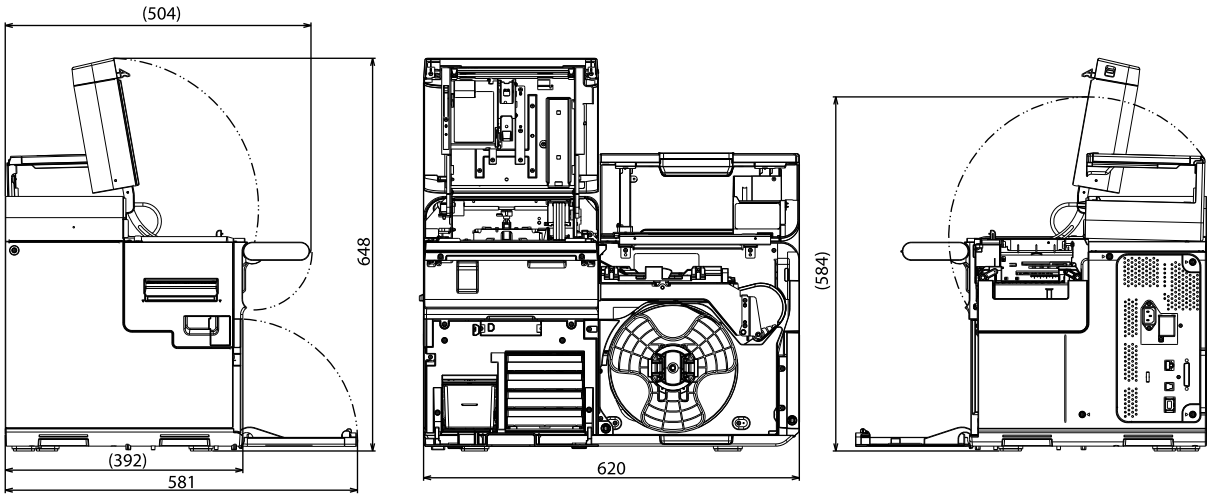
外形寸法

項目	仕様
高さ	420 mm
幅	620 mm
奥行	392 mm



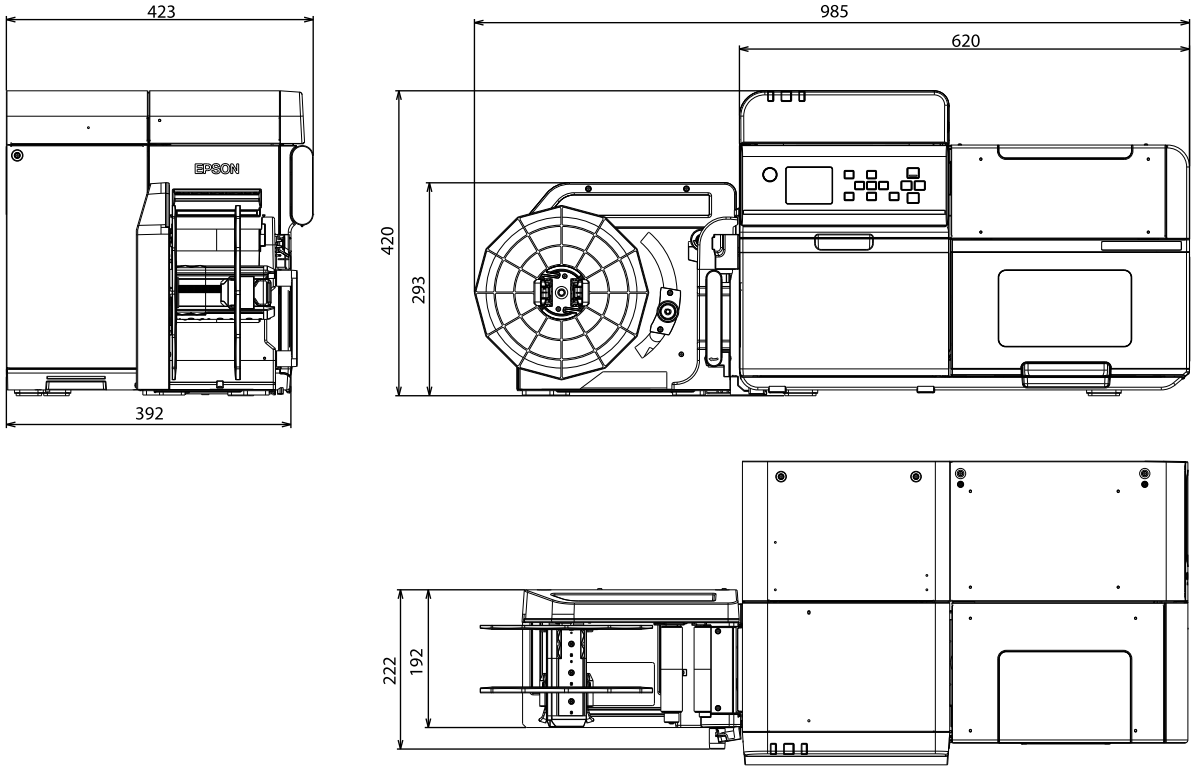
単位：mm

全てのカバーを開けたとき



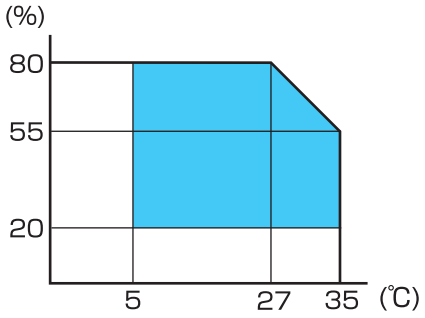
単位：mm

巻き取り装置を接続したとき



単位：mm

環境仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="3">仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="5">温度／湿度</td><td>印刷時</td><td colspan="3">5～35℃、20～80%RH 非結露（下図の網掛け領域）
 
</td></tr>
<tr><td>バーコード印刷時</td><td colspan="3">15～35℃、20～80%RH 非結露</td></tr>
<tr><td rowspan="3">保管時</td><td colspan="2">出荷梱包状態
（インク非充填）</td><td>-20～60℃、5～85%RH 非結露
(-20℃または 60℃の場合 120 時間以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">インク充填状態</td><td>フォトインク仕様</td><td>-15～40℃
（0～25℃の場合：6 か月以内）
（40℃の場合：1 か月以内）</td></tr>
<tr><td>マットインク仕様</td><td>-10～40℃
（0～25℃の場合：6 か月以内）
（40℃の場合：1 か月以内）</td></tr>
<tr><td colspan="2">標高</td><td colspan="3">0～3000 m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">騒音</td><td>本体のみ</td><td colspan="3">約 57 dB
弊社評価条件によります。</td></tr>
<tr><td>巻き取り装置接続時</td><td colspan="3">約 60 dB
弊社評価条件によります。</td></tr>
</table>

用紙仕様

本製品で使用可能な用紙は以下のとおりです。

用紙種類	マットインク使用時	フォトインク使用時
普通紙	✓	-
マット紙	✓	✓
上質紙	✓	-
合成紙	✓	✓
光沢紙	-	✓
光沢フィルム	-	✓
高光沢紙	-	✓

インクパック

項目		仕様
型番	CW-C8020	SJIC49P-BK SJIC49P-MK SJIC49P-C SJIC49P-M SJIC49P-Y
形態		4 色インク別体型専用インクパック
インク色		ブラック（フォトブラック(BK)、マットブラック(MK)）、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)
インク種		水性顔料インク
有効期限		プリンター装着後 1 年、使用期間を含めて製造日から 3 年
保存温度	個装輸送時	-20～60℃ （-20℃の場合は 4 日以内、40℃の場合は 1 ヵ月以内、60℃の場合は 3 日以内）
	個装保存時	-20～40℃（-20℃の場合は 4 日以内、40℃の場合は 1 ヵ月以内）
	本体装着時	-20～40℃（-20℃の場合は 4 日以内、40℃の場合は 1 ヵ月以内）

⚠注意	インクパックの中のインクは、-20℃以下の環境で放置すると凍結するおそれがあります。

メンテナンスボックス

項目		仕様
型番		SJMB7500
形態		廃液吸収材一体型メンテナンスボックス
保存温度	個装輸送時	-20～60℃（60℃の場合、5 日以内）
	個装保存時	-20～40℃（40℃の場合、1 ヵ月以内）
	本体装着時	-20～40℃（40℃の場合、1 ヵ月以内）

巻き取り装置（TU-RC8000）

巻き取り装置とは、印刷された用紙をロール状に巻き取るための装置です。

項目		仕様
外形寸法	高さ	293 mm
	幅	403 mm
	奥行	222 mm
質量		4.25 kg

付録

消耗品とオプション品

本製品で使用可能な消耗品およびオプション品の紹介をします。製品の販売代理店でお買い求めください。
また、詳細は下記 URL にてご確認ください。
https://www.epson.jp/support/

インクパック

インクパックは 4 色あります。ブラックインクはフォトインク（BK）/マットインク（MK）の 2 種類あります。
本製品で使用可能なインクパックは「インクパック」86 ページを参照してください。

純正インクパックのお勧め

- プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品のプリンタードライバーは純正インクパックを前提に色調整されています。純正品以外を使用すると、印刷品質が低下することがあります。インクパックは純正品のご使用をお勧めします。

インクパックの回収

インクパックは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
エプソンは使用済み純正インクパックの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。
便利でお得な「引取り回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。詳しくはエプソンのウェブサイトをご覧ください。
https://www.epson.jp/recycle/

インクパックの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

メンテナンスボックス

メンテナンスボックスとは、インクの廃液を回収するボックスです。本製品で使用可能なメンテナンスボックスは以下です。
型番：SJMB7500

純正メンテナンスボックスのお勧め

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のメンテナンスボックスのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

メンテナンスボックスの回収

環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。 回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています
最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのウェブサイトでご案内しています。
https://www.epson.jp/

メンテナンスボックスの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

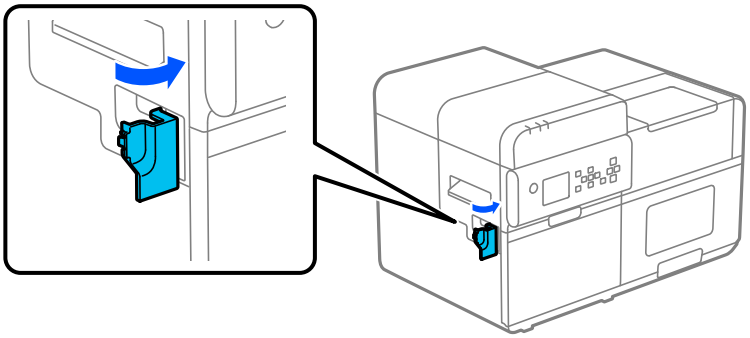
巻き取り装置

⚠注意	巻き取り装置作動中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。

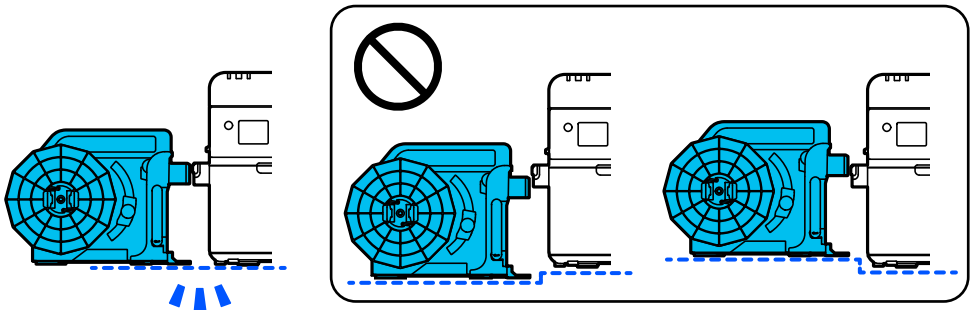
巻き取り装置の取り付け

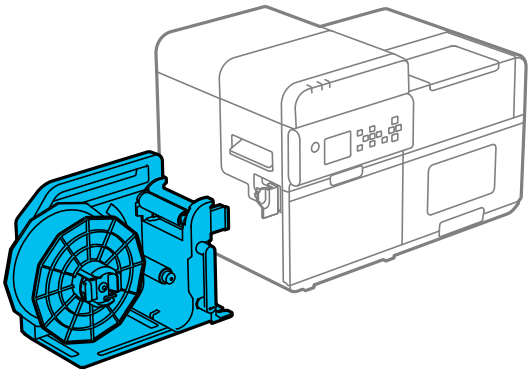
以下の手順で、巻き取り装置を取り付けます。

1 プリンター左側面にある巻き取り装置接続カバーを開けます。

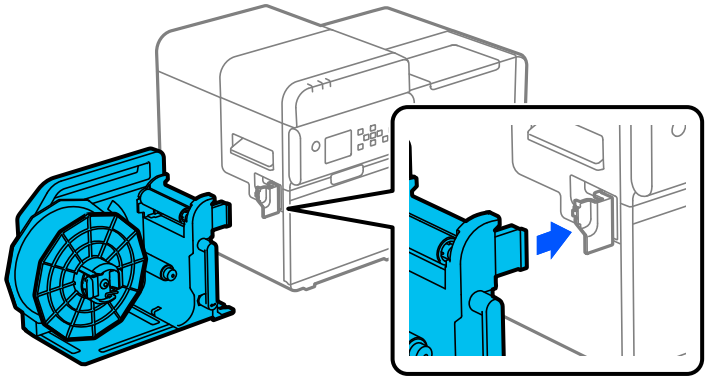


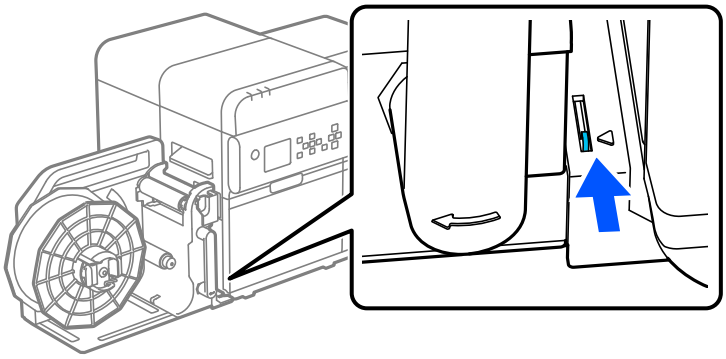
2 巻き取り装置をプリンターの左側に置きます。

⚠注意	必ずプリンターが置いてある面と同じ高さの面に巻き取り装置を置いてください。 



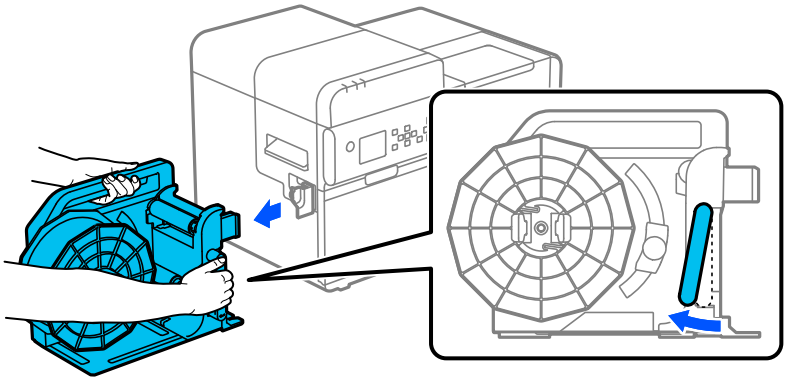
3 巻き取り装置の本体連結歯車をカバー開口部に挿入します。開口部に対して真っすぐに挿入してください。



参考	巻き取り装置下部にある ◁ マークと板金端面位置が合っているか確認してください。 

巻き取り装置の取り外し

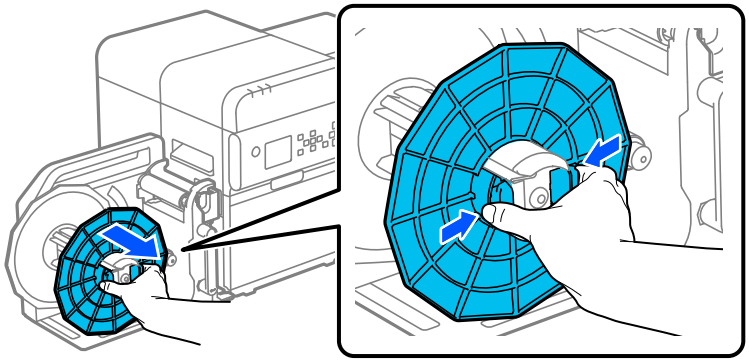
巻き取り装置のレバーを矢印の方向に引き、巻き取り装置を取り外します。



用紙の取り付け

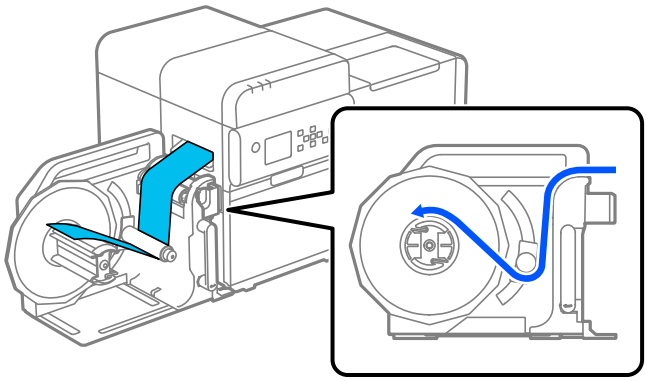
以下の手順で、用紙の巻き取り装置への取り付けをします。

1 **レバーを内側へ押しながら、巻き取りフランジを回転軸から取り外します。**



2 **（フィード）ボタンを押して、本製品から用紙を約 800 mm 出します。**

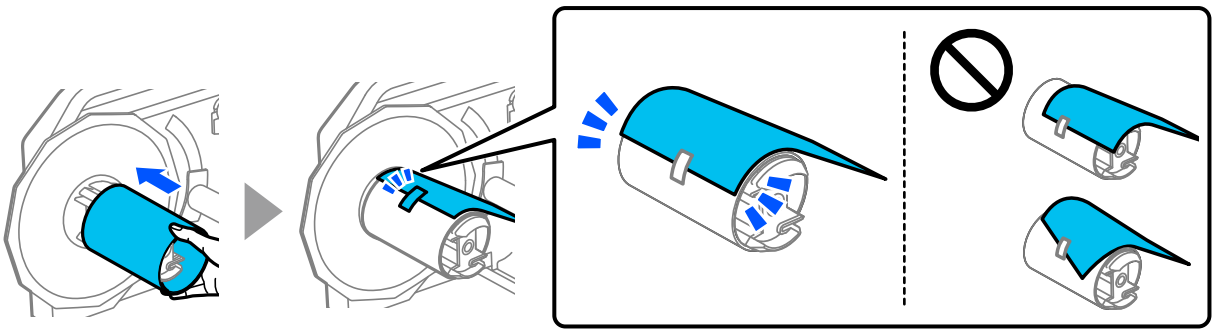
3 **用紙を下図のように通します。**

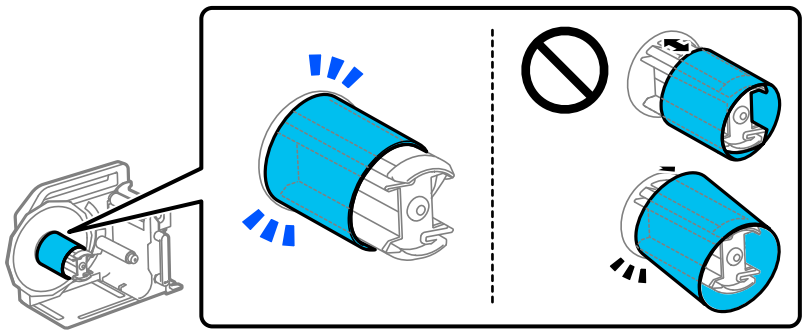


参考	用紙の厚さや剛性によっては正常に巻き取れない場合があります。

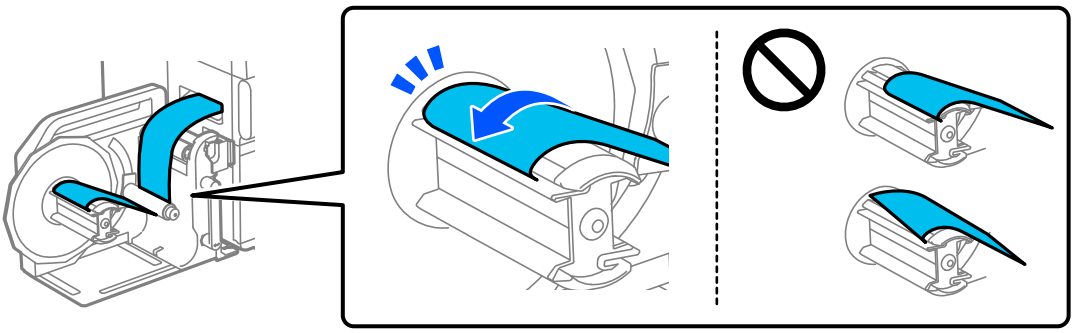
4 **用紙の先端を巻芯に固定するか、回転軸の隙間に挟み込みます。**

- 巻芯を使用する場合
  用紙を巻き芯の端面に揃えて、テープでまっすぐ固定します。その後、巻き取りフランジを 2 回ほど回転させ、たるんでいる用紙を巻き取ります。

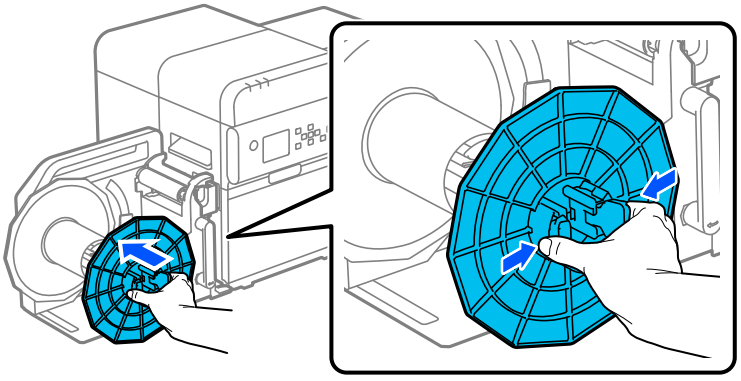


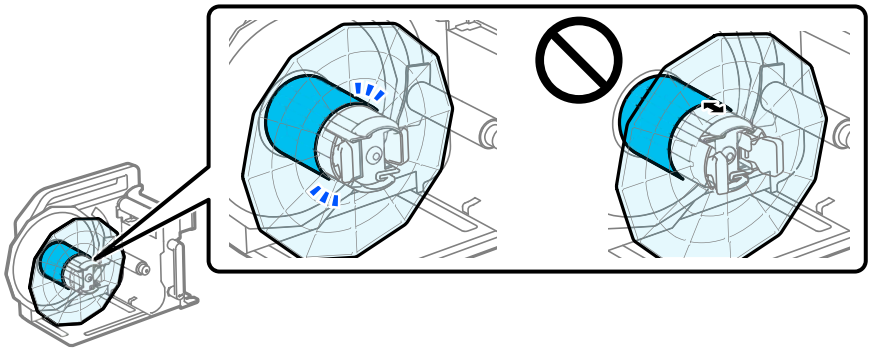
⚠注意	巻芯を巻き取り装置の回転軸に取り付けるときは、巻芯と巻き取り装置の間に隙間ができないようにしてください。 

- 巻芯を使用しない場合
  用紙先端を巻き取り装置の回転軸の隙間に挟みます。その後、2 回ほど回転軸を回転させ、たるんでいる用紙を巻き取ります。



5 レバーを内側へ押しながら、巻き取りフランジを回転軸へ取り付けます。



⚠注意	巻き取りフランジを巻き取り装置に取り付けるときは、巻芯と巻き取りフランジの間にすき間ができないようにしてください。 

参考	• 巻き取りフランジを取り付け忘れると、巻き膨れなどにより正常に巻き取れない場合があります。忘れずに巻き取りフランジを取り付けてください。 • 巻き取られたロール紙は、印刷前のロール紙より緩く巻かれていることがあります。後加工機に装着する場合は、ロール紙を巻き締める前処理をおこなうことを推奨します。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

お問い合わせ前の確認事項

本製品についての技術的な質問や疑問、あるいは障害がある場合、以下の情報をご確認の上、販売店もしくは弊社開発者向けヘルプデスク https://www.epson.jp/support/にお問い合わせください。

重要	• 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに関することに限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。 • 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害（接続、電源等の問題）がないかを確認してください。

- 問い合わせ分類：障害 / 質問
- 日付：
- 御社名：
- 部署名：
- お名前：
- お電話 / FAX / Email：
- コンピューター情報：
    - 製造メーカー
    - CPU
- OS（サービスパックも含む）：
- 対象プリンター機種名：
- プリンタードライバー：インストール済み（OS 標準 / Epson カスタム）/ インストールしていない
- 対象プリンター接続形態：USB / LAN / MS 共有（クライアント / サーバー）
- 印刷ツール：ローカル（LPT / USB） / OS 標準 Standard TCPIP / OS 添付 LPR / Epson 製 TCPIP 印刷（名称） / 自社カスタムアプリケーション / その他（製品名/Ver.）
- ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル（製品名/Ver.）/ 無し
- 御社アプリケーション情報：Windows サービス動作/ 通常 EXE 動作
- 弊社アプリ動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser /EPSON Monitoring Tool / EpsonNet SDK for Windows / PrinterSetting / その他（名前）
- 障害の現象（or 質問内容）：
- システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成
- 障害の再現手順：操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値
- 障害の再現性：再現する（　回中　回）/ 再現しない

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理･変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft、Windows は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2024